

May.2020

Vol.118

さが 看護協会だより



佐賀県看護協会

〒849-0201

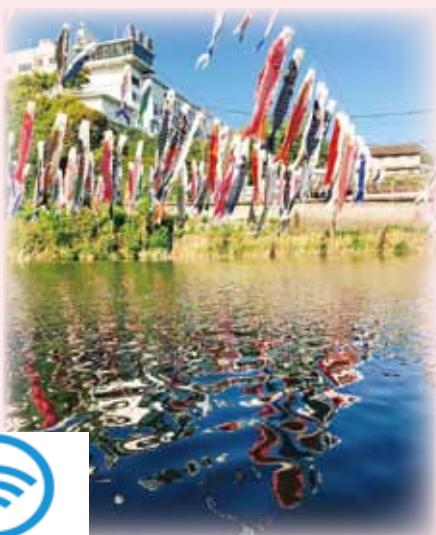
佐賀市久保田町徳万1997-1

TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603

URL <http://www.saga-nurse.org>

E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp

発行責任者 会長 南里 玲子



写真提供者：白石共立病院
看護師 橋本 礼伊子



館内は無料 Wi-Fi を
ご使用いただけます

SSID SNA3299
Password kgkk_3603

会員数

5,139人
R2年5月現在

保健師
181人

助産師
108人

看護師
4,612人

准看護師
238人



..... CONTENTS

- ② ナーシングNOWキャンペーン
実習指導者講習会
- ③ 災害支援ナース交流会
- ④ 保健師職能集会・助産師職能集会
- ⑤ 看護師職能Ⅰ集会
・看護師職能Ⅱ集会
- ⑥～⑦ ナースセンターだより
(再就業支援研修・まちの保健室
・訪問看護師養成講習会終了)
- ⑧ 特集:ハイマット
- ⑨～⑮ 2020年度通常総会関係
- ⑯ 目指せ!会員数5,700名
ハーモニーランド
- ⑰ 協会からのお知らせ・理事会報告
・ファンケル様より寄贈・編集後記

Nursing Now キャンペーン「看護の力で健康な社会を！」

Nursing Nowとは、ナイチンゲール生誕200年となる年末まで、世界保健機構(WHO)及び国際看護師協会(ICN)の賛同のもと、英国から広がった世界キャンペーンです。

看護職が健康課題への中心に立ち、人々の健康向上に貢献するため行動しようというNursing Nowの趣旨は、私たちの取り組みや目指す方向性に合致するものです。医療機関における看護、在宅看護、地域における保健活動など、社会における看護の役割は拡大しています。

これまでの、これから、看護のあり方を一人一人が考え、社会に求められる役割を果たしていきたいと考えます。

「2020年看護ふれあいフェスタ」を本年9月26日(土)に開催する予定です。このフェスタにおいて、「NGO アフリカ友の会」を設立し、HIV感染者の治療と生活支援、感染防止のため献身的な努力を続けられ、2005年にフローレンス・ナイチンゲール記章を受章された 德永 瑞子氏のご講演を予定しています。



看護の力で健康な社会を！

佐賀県保健師助産師看護師実習指導講習会

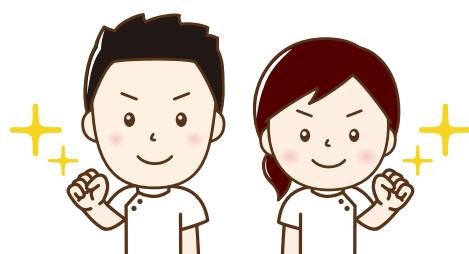
独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センター 德永 隆晃

今回実習指導者講習会を受講し、教育論や看護教育論などの基礎から看護教育における臨地実習の位置づけや実習指導案の意義、作成方法まで多岐にわたる内容を学ぶことができました。

2019年度の研修からは、40日間の研修期間を5クールに分け、off-JTで学んだことを自施設に持ち帰りJTで実践し、off-JTでさらに振り返り学びを高めるといったスタイルでした。また、昨年度まではグループでの指導案作成でしたが、今年度はグループごとの指導案作成に加えて、個人ごとに指導案を作成し、研修のない期間に自施設で活用できるようにという内容も含まれていました。そのため、研修で学んだ内容を自施設の実習指導に活かし、研修の学びを深めていく内容でした。

次に研修で印象深かったのは、どのように学生のやる気を引き出し、効果的に学習を進めていくことができるのか、どのような方法を使わなければならないのかという内容で、これまでの自分の指導について振り返ることが出来ました。また、臨地実習は授業であり、学校が学生に学ばせたい目標や内容を理解し、それに沿ったうえで、臨地実習で提供すべき実習指導案を作成すること、評価できるような内容であることなど改めて学ぶことができました。研修期間が分かれていたことで、講義で学んだ内容を実際の実習指導に活かし、研修に戻りさらに内容を深めることができたと思います。

講習会を受講することで、実習は授業であることや、後輩育成で必要なこと、さらに実習指導を行うことで自分自身も看護について学ばせてもらっていると感じました。今後、実習指導要綱の理解を深め、自らの経験を活かせる様な実習指導を行い、未来の仲間をつくるていけるような実習指導者になりたと思います。



2019年度 災害支援ナース交流会について

災害支援ナースとは『看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努め、被災者の健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職』のことを言います。各都道府県看護協会に登録されていて、佐賀県看護協会には、58名の災害支援ナースがいます。支援活動はバディーを組んで3泊4日間行うため、災害支援ナース同士が顔の見える関係になるよう、毎年12月に「災害支援ナースの交流会」を開催しています。

昨年、佐賀県においても豪雨災害に見舞われ、初の県内派遣となり、夜間の避難所での巡回、被災者の方々の健康管理および感染予防対策を行いました。この経験で多くの方に災害支援ナースについて知ってほしい、また1人でも多くの方に災害支援ナースとして共に活動してほしいという思いから、2019年度の災害支援ナース交流会の参加対象者を例年の災害支援ナース登録者のみから「災害支援に関心のある看護職」に拡大しました。また、被災地での支援活動は保健師との連携を図る場面が多くあり、県や市町の保健師と看護師の交流も図るため、県行政の主管課を通じて管内保健師へ開催参加を呼びかけてもらいました。

参加者は58名(災害支援ナース31名、看護師8名、保健師19名)でした。交流会の内容として、災害支援ナースの紹介、県内豪雨災害派遣の活動報告、被災地の保健師からの報告がありました。活動時期が異なる3名の看護師からの報告により、各時期で活動内容が変化していく事や支援によって変化していく避難所の様子を聞くことができました。また、被災地の保健師から見た必要な支援も知る事もでき、大きな学びになりました。さらに、避難所でよく見かける災害用トイレ(ラップポン)や段ボールベッドですが、支援活動時に作成依頼をされる事も少なくないため、県の担当者や業者から作成および使用方法を聞き、実践してみました。他には災害支援ナースの活動に欠かせない防災グッズの紹介(保存食の試食、ヘルメットの着用等)もありました。災害用トイレや段ボールベッドはもちろん、防災グッズの中にも初めて手にする物もあり、貴重な体験でした。

交流会は3時間の開催でしたが、もう少し支援ナースと交流したかったという感想もあり、今後も災害支援ナースと災害支援に関心のある看護職との交流会を開催していきたいと思います。そして、1人でも多くの仲間と共に活動ができる事を願っています。災害支援ナースに登録をお願いします。



保健師職能集会

令和元年11月9日(土)

佐賀県看護協会看護センター 参加者:41名

保健師職能委員会委員長 大森 日登美

保健師職能集会は、保健師の専門性や求められる役割を考え、スキルアップやご自身のモチベーションを高めるとともに、行政、産業、医療福祉に従事する保健師の情報交換を目的に開催しました。

今回の研修は、メンタルヘルスに主眼を置き、「少女マンガにみる母と子(娘)の呪縛と成長の物語」と題し、福岡大学医学部教授 西村良治先生に講演いただきました。

マリッジブルーや産後うつなど女性のライフスタイルに関する社会問題が取りだたされる今日、昭和から平成への時代の流れのように、母と子(娘)の関係を少女マンガの変遷を通して考えさせられる機会となりました。

母の干渉がすごい、娘をかわいいと思えない… アダルトチルドレン 毒親などと時代の変化は、少女マンガから心の回復のヒントが見えてくると西村先生の持論。

スキルアップに専門書は欠かせませんが、多様な面からの学びや情報収集が保健師業務に活かせることを改めて感じた研修でした。



助産師職能集会

助産師職能理事 大島 玲子

令和1年10月19日(土)令和1年度助産師職能集会を、第3回九州・沖縄地区助産師職能委員会合同研修会と抱合せて開催致しました。今年度は、日本看護協会の重点事業の中の助産師の技術の向上と、切れ目のない支援を中心に実施しました。

第3回九州・沖縄地区 助産師職能委員会合同研修会 in 佐賀

「助産師にできるおなかの中から始める子育て支援」

日 時：10月19日(土)13時～17時

場 所：独立行政法人国立病院機構 佐賀病院 研修センター

講演① 胎内記憶からの子育て 講師：一般社団法人胎内記憶教育協会 池川 明 先生

講演② 助産師外来におけるエコー検査 講師：独立行政法人国立病院機構 佐賀病院 野見山 亮 先生

参 加：各県看護協会職能委員長 日看協助産師職能委員 佐賀県職能委員

受講者 92名(会員 56名 非会員 36名 職能委員 6名)

(職種：助産師 看護師 医師 臨床心理士 教員 学生)

池川先生のご講演から、赤ちゃんは親をえらんでくること、胎児期にも記憶があること、その事を知っておくことが愛着形成の支援にも役立つことを学び、その後に参加者全員がエコーで胎児を見る演習を行った。今後の助産師外来・院内助産への一つのステップにつながったことをアンケート結果より確認できた。



池川先生の体内記憶のご講演



野見山先生の胎児エコーのご講演



参加者一人一人がエコーで実践

看護師職能Ⅰ集会（病院領域）

令和元年11月30日(土) 13:15~15:30

参加者:50名

看護師職能委員会Ⅰ委員長 松岡 周子

今年度は「病院看護師による在宅療養支援」をテーマに、済生会唐津病院副看護部長の井上房代先生に講演をお願いしました。先生は冒頭、「あなたの看護は、患者さんの退院後の生活を考えた関わりとなっていますか？」と問いかけられました。その上で「在宅療養支援は、ケアを次につないでいくことを意識すること」が大切であり、そのためには院内・院外の連携が重要であると述べられました。先生はまた、看護師に必要な連携力として、「想像する力」、「先を見る」、「つなぐを意識する」、「“できない”を“できる”に変えるためにどうするかを考える」などをあげられました。取り組みの方法は、地域や自施設の特性によって変わることはあっても、これらのスキルを身につけていれば、在宅療養支援がうまくいく、重要なキーワードだと思います。

講演後のアンケートでは、「退院支援に関わる具体的な話が聞けて勉強になった。」「在宅に向けて必要なことを意識しながら関わっていきたい。」などの声が聞かれました。在宅療養支援について自身の振り返りができ、今後に活かすことのできる講演でした。



看護師職能Ⅱ集会（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

2019年12月21日(土) 13:00~16:00

看護センター 参加者名:17名

看護師職能委員会Ⅱ委員長 片桐 都茂子

今回、「在宅における糖尿病患者看護について」というテーマで、2019年度の看護師職能Ⅱの集会を開催しました。JCHO佐賀中部病院 糖尿病認定看護師 富山ルミさん、佐賀県栄養士会所属管理栄養士 池上幸子さんを講師にお迎えしました。

症例を交えながら、最近の糖尿病についての治療や看護、そして、食事の工夫について、わかりやすく講義をしていただきました。在宅の糖尿病患者に対しての悩みなど質問も多く出ました。糖尿病腎症による新規透析導入の患者の伸び率が全国ワーストだった佐賀県は「佐賀県ストップ糖尿病対策事業」を実施しています。糖尿病の治療は日進月歩であり、地域を含めたチームで支援していく必要性を改めて勉強しました。参加者からはすぐに役立つ話が聞けたと好評をいただきました。



ナースセンターだより

2019年度 看護職再就業支援研修を開催しました

この研修は、再就業を希望する看護職を対象に佐賀県の委託を受けて年に2回開催しています。

研修は4日間の講義・演習と2日間の病院実習があり受講料は無料です。

未就学児の託児施設も無料でご利用できます。

1. 開催期間

第1回目 2019年9月30日(月)～10月7日(月)の土・日を除く6日間
第2回目 2020年1月15日(月)～1月27日(月)の土・日を除く6日間



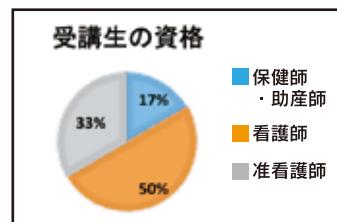
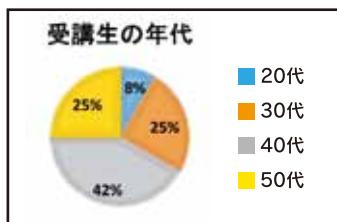
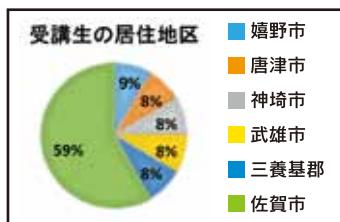
2. 広 報 佐賀県看護協会ホームページ

各ケーブルテレビ

ハローワーク・商業施設へのポスター・チラシ配布
就業相談・合同就職説明会など



3. 受講生 第1回は5名、第2回は7名 計12名



4. 受講生の経験・離職期間 [] の中は人数

期 間	経験年数	離職期間
就労経験なし	2	2
1年末満	0	2
1年以上～5年末満	2	2
5年以上～10年末満	3	3
10年以上～15年末満	3	2
15年以上～20年末満	2	0
20年以上	0	1
計	12	12

5. 復職を希望する施設

①病院	6
②診療所	3
③訪問看護	1
④特養・福祉施設	1
⑤その他	3
⑥検討中	0
未記入	1
計	15

複数回答

看護師等の届出サイト



6. 希望する雇用関係

①正規職員	5
②正規職員以外	7
未記入	1
計	13

複数回答

7. 希望する勤務時間

①フルタイム夜勤有	5
②日勤のみ	2
③パート	7
未記入	1

複数回答

8. 今回の研修について

Q 再就業を考える機会となったか

はい	12
いいえ	0
計	12

※以上の結果を2020年度の復職研修に生かしたいと思います。

9. 研修結果

①研修時期に関して、第2回開催は、研修の問い合わせは10名、申し込みは9名でしたが、家族のインフルエンザや体調不良で辞退や欠席が目立ち、第2回の修了者は最終的に5名でした。

受講生は、子育て中の方が多いため、第2回の開催時期をインフルエンザなど感染症の影響を受けにくい時期に検討することが必要だと考えます。

研修期間に関しては、研修前の問い合わせで、「6日間は長い」「16時終了時間は子供の迎えに間に合わない」という意見が多く聞かれ、今後、受講しやすい環境にすることが必要だと考えます。

②研修の内容は、「採血・静脈注射」「急変時の看護」などが評価が高い傾向があり、これらの研修は、演習の時間を設けているため、実務に直結することを繰り返し演習できることが、復職への1歩踏み出す勇気につながると考えます。

③全員が「再就業を考えるきっかけになった」と答えており、研修目的は達成できたと考えています。





2019年度 □□□ まちの保健室 □□□



開催月日	場所	相談者数
4月21日(日) 10:00~16:00	牛津アイル 創業祭	43名
5月12日(日) 12:30~16:30	ゆめタウン佐賀	63名
10月20日(日) 10:00~16:00	唐津 うまかもん市場	24名
10月27日(日) 10:00~16:00	牛津アイル フェスタ	44名

協力員の感想

- ・牛津アイルは、創業祭やフェスタが開催されており大勢の参加で、相談者には好評でした。
- ・唐津うまかもん市場は、初めての開催でしたが、相談者は24名でした。多くの方が、買い物に来られていましたので、回を重ねて、定期的な開催となれば相談者も増えてくると思われます。

2020年度「まちの保健室」活動

テーマ：ロコモシンドローム啓発（運動「歩くこと」・食事）

佐賀県では「さが健康寿命UP」「ロコモ予防」など健康維持に関する情報発信やセミナーを開催しております。

佐賀県看護協会でも「まちの保健室」において「日々の生活を健康に！」をもとに相談活動を取り組みます。



□□□ 2019年度訪問看護師養成講習会終了 □□□

開催期間 2019年5月15日～12月5日 eラーニング期間 5月15日～10月14日
受講者 26名 修了者 21名



(所属別受講修了者数)

訪問看護業務		訪問看護業務以外			
訪問看護ST	病院	離職中	その他	計	
15	3	2	1	21	

(年代別受講修了者数)

20代	30代	40代	50代以上	計
0	6	9	6	21

受講生より

- ◇他ステーションなどの情報をもっと知れるといいと思う。情報交換ができるようなネットワークがあると良い。
- ◇ワールドカフェ方式でのグループワークはとても新鮮で、自分の意見を言いやすく全員の意見や知識が共有できました。理想の訪問看護ステーションを検討するときは、利用者様へは優しく丁寧に、運営はシビアになど活発な意見が出た。
- ◇訪問看護ステーション実習は、大きな学びとなった。有難うございました。
- ◇講習会は、eラーニング・集合教育・実習と大変でしたが、同じ志を持つ方と学べたことは良い刺激になった。

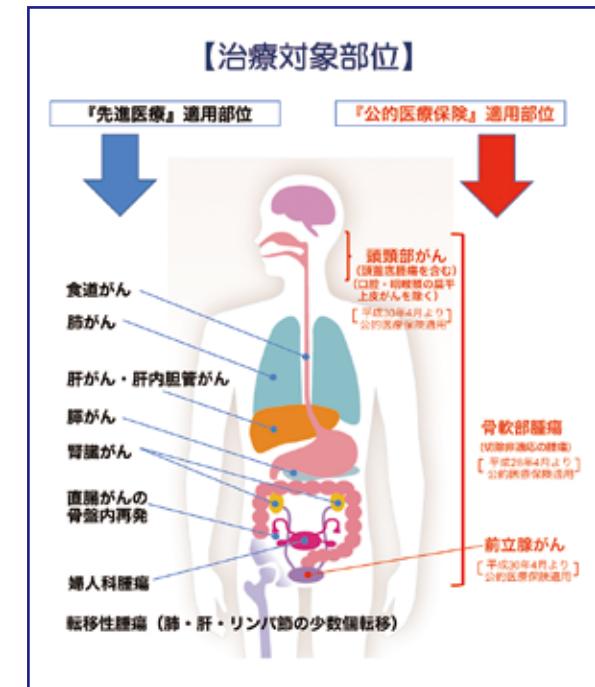
特 集

九州国際重粒子線がん治療センター

看護師長 羽根 幸子

九州国際重粒子線がん治療センター(愛称:ハイマット)は2013年8月から治療が始まりました。

開院時はすべての疾患が先進医療でしたが、骨軟部腫瘍(肉腫)、頭頸部癌の一部、前立腺癌が保険診療となり、重粒子線治療は患者さんにとってより選択しやすいがん治療となりました。看護師の人数は、当初3名からスタートしましたが、現在は地域連携室、CRCを含め14名となりました。重粒子線治療には多くの職種が関わります。患者さんにもっとも近い存在である看護師は、チーム医療の中で多職種との調整能力が必要とされます。安全に治療が完遂できるよう、スタッフ間での情報共有、患者さんの意思決定支援、セルフケアに必要な指導など、心身のサポートを行っています。多くの不安を抱えて来院される患者さんをサポートし、「ハイマットに来てよかったです」と言っていただける看護をこれからも提供していきたいと思います。



- 【治療の対象とならないがん】
- 白血病のような血液のがん
 - 広範な転移のあるがん
 - 胃がん、大腸がんなど不規則に動く臓器のがんなど

がん病巣を集中的に照射

従来から放射線治療に用いられているエックス線の場合、体の表面近くでその効果が最大となり、エネルギーを出しながら体を通り抜けます。一方、重粒子線は、体の一定の深さでエネルギーのピークを迎え、その前後では弱く抑えられるという特性があります。このピークになる深さをがん病巣の位置に合わせることで、がんだけを集中的に狙いうちすることができ、体の深いところにあるがんにも治療効果が期待できます。

副作用が少ない

がん病巣だけで集中的にたたくため、まわりの正常細胞へのダメージ(=副作用)を最小限に抑えることができます。

通院で治療

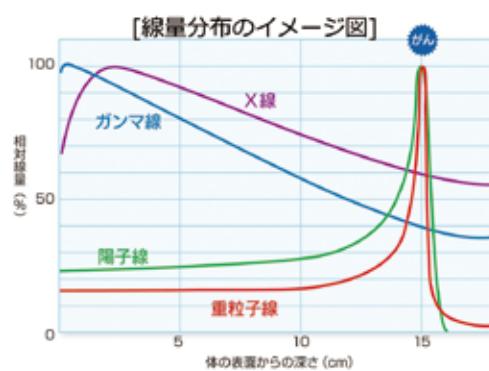
体を切らずに済むため、通院でがんを治療できます。
また、高齢などで体力に不安がある方の治療も可能です。

難治性がんの治療も可能

骨肉腫などの従来の放射線治療が効きにくいがんや、複雑な場所にあるために手術が困難ながんにも治療の可能性が広がります。

治療期間が短い

重粒子線は、陽子線やエックス線、ガンマ線と比べて、がん細胞を殺傷する能力が2~3倍ほど高く、一回の照射で得られる効果が大きいため、治療期間を短くすることができます。



出席される方は、中途退席のないようお願いいたします。

通常総会のご案内とお知らせ

令和2年度公益社団法人佐賀県看護協会通常総会は、コロナウイルスの感染拡大を鑑み、規模を縮小し、時間を短縮し開催いたします。

例年であれば、通常総会は、役員の選任や昨年度の決算の審議や、事業計画・事業報告などに対するご意見を頂戴するなど、看護協会の運営上、極めて重要な意思決定がなされる場であります。より多くの会員の方に出席いただきたいところですが、感染症拡大防止及び会員皆様の健康を配慮したうえでの開催とさせていただきます。

会員の皆様には、この点をご勘案いただき、委任状の提出により、来場を控えて頂きますよう、よろしくお願いいたします。

令和2年度 佐賀県看護協会通常総会プログラム

期日 令和2年6月27日(土)
場所 佐賀市文化会館

時 間	内 容
9：30	開場
9：40	佐賀県看護協会会长表彰者写真撮影
9：55	オリエンテーション
10：00	開会 物故会員への黙祷 会長挨拶 佐賀県看護協会会长表彰 日本看護協会長表彰受賞者紹介 祝電披露
10：10	議長団選出 議事録署名人決定 審議事項 第一号議案 2019年度決算報告（案） 第二号議案 令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について 第三号議案 令和2年度改選役員及び推薦委員の選出について
10：30	選挙
10：40	報告事項 報告事項1 2019年度事業報告 報告事項2 令和2年度事業計画 報告事項3 令和2年度収支予算
11：00	地区支部集会
11：20	選挙結果発表 退任役員への謝辞 退任役員代表挨拶 新役員紹介 新役員代表挨拶
11：30	閉会

第一号議案**2019年度決算報告（案）****2019年度決算の概要**

本会の決算書は、20年会計基準に基づき大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

1 事業活動収入について

- (1) 入会金収入は8,790,000円、会費収入は44,904,000円であった。
- (2) 事業収入は196,409,049円、事業受託収入は33,031,712円、補助金等収入は9,837,412円であった。
- (3) 寄附金収入のうち、使途が指定されている6,172,000円は会員からの看護センター施設維持管理資金拠出金、400,000円は使途が指定されていない法人からの寄附であった。
- (4) 雑収入は1,212,988円で、受取利息、実習生受入謝金の他、役職員旅費に対する日看協負担額の受け入れ等であった。

2 事業活動支出について

- (1) 公益目的事業会計の事業費支出の合計額は291,464,921円であった。
 - (2) 公益目的事業会計のうち、全ての定款事業に共通で支出した事業費支出の合計は34,605,738円で、それ以外の定款事業ごとの内訳は次のとおりであった。
 - ① 教育等看護の質の向上に関する事業 27,198,721円
 - ② 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業 471,720円
 - ③ 看護業務、看護制度の改善に関する事業 853,614円
 - ④ 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業 213,260,935円
 - ⑤ 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業 12,917,663円
 - ⑥ 災害による被災者の支援に関する事業 74,711円
 - ⑦ 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業 601,601円
 - ⑧ 施設の貸与事業 0円
 - ⑨ その他本会の目的を達成するために必要な事業 1,480,218円
 - (3) 収益事業等会計の事業費支出は1,463,851円で、主な事業は、施設の貸与事業、会員福利厚生事業等である。
 - (4) 法人会計の管理費支出は25,938,150円であった。
 - (5) 本会は、公益法人として、次の財務三基準を満たすことを求められている。
 - ① 収支相償、これは、公益目的事業に係る収入が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。
公益目的事業の経常収益274,394,767円が公益目的事業の経常費用291,464,921円を超えないため、基準を満たしている。
 - ② 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。
全事業の経常費用318,866,922円に対する、公益目的事業の経常費用291,464,921円の比率が91.4%で、50%を超えるため基準を満たしている。
 - ③ 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が、公益目的事業を1年間、実施するのに必要な額をこえないこと。
2019年度末の遊休財産額167,805,443円で、公益目的事業の経常費用291,464,921円を超えないため基準を満たしている。
- したがって、本会の2019年度決算は、これら財務三基準をすべて満たしている。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	160,252,446	192,411,994	△ 32,159,548
未収金	43,655,360	34,658,294	8,997,066
前払金	0	100,000	△ 100,000
立替金	924	44,255	△ 43,331
前払費用	4,480	7,040	△ 2,560
仮払金	10,000	0	10,000
流動資産合計	203,923,210	227,221,583	△ 23,298,373
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
施設整備積立金	7,034,000	0	7,034,000
看護センター準備積立金	128,783,084	122,500,946	6,282,138
土地	80,683,591	80,683,591	0
建物附属設備	185,164,317	191,426,307	△ 6,261,990
構築物	30,862,693	39,605,823	△ 8,743,130
車両運搬工具	4,689,840	5,501,107	△ 811,267
什器備品	238,612	1,138,816	△ 900,204
保証金	7,118,822	8,672,795	△ 1,553,973
特定資産合計	444,622,369	449,576,795	△ 4,954,426
(3) その他固定資産			
建物附属設備	1,404,216	1,636,848	△ 232,632
構築物	848,397	960,721	△ 112,324
車両運搬工具	1,425,856	2,590,439	△ 1,164,583
什器備品	3,542,002	5,189,443	△ 1,647,441
土地	80,359,585	80,359,585	0
リース資産	596,160	1,192,320	△ 596,160
保証金	123,690	123,690	0
その他固定資産合計	88,299,906	92,053,046	△ 3,753,140
固定資産合計	532,922,275	541,629,841	△ 8,707,566
資産合計	736,845,485	768,851,424	△ 32,005,939
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	701,499	1,230,847	△ 529,348
前受金	38,968,000	39,296,000	△ 328,000
預り金	4,145,238	7,732,101	△ 3,586,863
賞与引当金	7,759,467	7,233,600	525,867
未払消費税等	400,100	2,614,400	△ 2,214,300
流動負債合計	51,974,304	58,106,948	△ 6,132,644
2. 固定負債			
長期借入金	17,127,000	22,683,000	△ 5,556,000
リース債務	645,840	1,242,000	△ 596,160
固定負債合計	17,772,840	23,925,000	△ 6,152,160
負債合計	69,747,144	82,031,948	△ 12,284,804
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	940,549	993,031	△ 52,482
地方公共団体補助金	14,210,463	15,849,963	△ 1,639,500
寄付金	287,345,558	293,604,118	△ 6,258,560
受贈車両運搬具	2	2	0
指定正味財産合計	302,496,572	310,447,114	△ 7,950,542
(うち特定資産への充当額)	302,496,572	310,447,114	△ 7,950,542
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	364,601,769	376,372,362	△ 11,770,593
	142,125,797	139,129,681	2,996,116
正味財産合計	667,098,341	686,819,476	△ 19,721,135
負債及び正味財産合計	736,845,485	768,851,424	△ 32,005,939

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	620,133
	普通預金	佐賀銀行 本店営業部	運転資金として	21,772,293
		佐賀銀行 本店営業部	同上	696,544
		佐賀銀行 本店営業部	同上	6,555,774
		佐賀銀行 本店営業部	同上	69,000
		佐賀銀行 本店営業部	同上	29,224,209
		佐賀銀行 本店営業部	同上	31,000,000
		佐賀銀行 本店営業部	同上	16,306,972
		佐賀銀行 本店営業部	同上	107,518
		佐賀銀行 本店営業部	同上	3,735,897
		佐賀銀行 本店営業部	同上	597,714
		佐賀銀行 本店営業部	同上	7,374,018
		佐賀銀行 本店営業部	同上	1,253,757
		佐賀共栄銀行 佐大通り支店	同上	3,879,749
		ゆうちょ銀行 久保田郵便局	同上	51,477
		ゆうちょ銀行 福岡貯金事務センター	同上	7,391
	小計			122,632,313
	定期預金	佐賀信用金庫 西支店		3,500,000
		佐賀信用金庫 西支店		3,500,000
		佐賀東信用組合 県庁支店		30,000,000
	小計			37,000,000
	現金預金 計			160,252,446
	未収金		介護報酬、診療報酬他	43,655,360
	立替金		災害時消耗品	924
	前払金		水路使用料	4,480
	前払費用		中小企業退職金共済	10,000
流動資産合計				203,923,210
(固定資産)	施設整備積立金	佐賀銀行 本店営業部他		7,034,000
特定資産	看護センター準備積立金	佐賀銀行 本店営業部他		128,783,084
	土地	久保田町大字徳万1997-1、1998-2 3616m ²	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	59,302,440 2,097,773 19,283,378 80,683,591
	小計			
	建物	久保田町大字徳万1997-1 佐賀市緑小路130-1	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。 公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	105,543,905 3,649,407 33,546,471 42,424,534 185,164,317
	小計			
	建物附属設備	佐賀県看護協会建物設備他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	26,545,654 423,558 3,893,481 30,862,693
	小計			
	構築物	佐賀県看護協会外構工事他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	4,335,676 34,748 319,416 4,689,840
	小計			
	車両運搬具	車両12台	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	238,612
	什器備品	書架・ベッド他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	6,906,671 20,815 191,336

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		小計		7,118,822
保証金		リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	47,410
その他固定資産		建物附属設備	複合型事業水道設備工事他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。
		構築物	駐輪場屋根工事他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。
		小計		802,988 4,454 40,955
車両運搬具		車両13台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	848,397 1,425,856
什器備品		パソコン他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	3,468,824 7,180 65,998
		小計		3,542,002
土地		久保田町大字徳万1998-3 1639m ² (駐車場) 佐賀市緑小路130-1 2010.8m ²	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	36,998,700 43,360,885
		小計		80,359,585
リース資産		事務用印刷機	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	596,160
保証金		リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	123,690
固定資産合計				532,922,275
資産合計				736,845,485
(流動負債)	未払金		割賦未払金他	701,499
	前受金		会員会費	38,968,000
	預り金	一般的預り金 会館維持管理預り金 講師謝金等預り金 職員給与等預り金 社会保険料預り金 住民税預り金	研修会費 会館維持管理費 源泉所得税 源泉所得税 社会保険料 住民税	13,391 69,000 51,477 223,044 3,314,826 473,500
	小計			4,145,238
	賞与引当金			7,759,467
	未払消費税等			400,100
	流動負債合計			51,974,304
	(固定負債)	長期借入金 リース債務	設備資金 事務用印刷機リース	17,127,000 645,840
固定負債合計				17,772,840
負債合計				69,747,144
正味財産				667,098,341

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
受 取 入 会 金	8,790,000	0	8,790,000
受 取 入 会 金	8,790,000	0	8,790,000
受 取 会 費	44,904,000	45,192,000	△ 288,000
正 会 員 受 取 会 費	44,904,000	45,192,000	△ 288,000
事 業 収 益	196,409,049	202,985,941	△ 6,576,892
研 修 会 業 収 益	12,247,314	17,295,800	△ 5,048,486
介 護 保 險 収 益	97,949,956	93,982,388	3,967,568
療 養 費 収 益	64,774,467	69,386,565	△ 4,612,098
利 用 料 収 益	6,793,530	7,296,349	△ 502,819
居 宅 介 護 サ ー ビ ス 計 画 費 収 益	8,625,640	8,525,450	100,190
療 養 通 所 介 護 費 収 益	5,218,760	5,618,500	△ 399,740
施 設 使 用 料 収 益	753,900	816,400	△ 62,500
電 気 使 用 料 収 益	0	19,900	△ 19,900
販 売 手 数 料 収 益	45,482	44,589	893
事 業 受 託 収 益	33,031,712	40,872,946	△ 7,841,234
佐 賀 県 受 託 事 業 収 益	31,628,000	29,166,000	2,462,000
民 間 受 託 事 業 収 益	1,403,712	11,706,946	△ 10,303,234
受 取 補 助 金 等	9,837,412	10,735,597	△ 898,185
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	150,000	240,000	△ 90,000
受 取 日 本 看 護 協 会 助 成 金	7,995,430	8,289,230	△ 293,800
受 取 補 助 金 等 振 替 額	1,691,982	2,206,367	△ 514,385
受 取 負 担 金	78,610	0	78,610
受 取 負 担 金	78,610	0	78,610
受 取 寄 付 金	11,838,089	12,071,175	△ 233,086
受 取 寄 付 金	400,000	400,000	0
受 取 寄 付 金 振 替 額	11,438,089	11,671,175	△ 233,086
雜 収 益	1,212,988	3,002,271	△ 1,789,283
受 取 利 息	142,086	154,352	△ 12,266
雜 収 益	1,070,902	2,847,919	△ 1,777,017
経 常 収 益 計	306,101,860	314,859,930	△ 8,758,070
(2) 経 常 費 用			
事 業 費	292,928,772	313,773,919	△ 20,845,147
事 員 報 酬	2,043,750	1,980,168	63,582
給 料 手 当	137,484,250	126,969,371	10,514,879
雇 員 報 酉	31,203,447	43,685,929	△ 12,482,482
講 師 報 酉	9,404,110	12,239,159	△ 2,835,049
臨 時 雇 用 貨 金	6,809,474	7,086,500	△ 277,026
退 職 退 金	1,046,091	2,897,975	△ 1,851,884
中 退 金	4,446,880	4,090,880	356,000
会 員 福 利 厚 生	745,145	770,091	△ 24,946
職 員 福 利 厚 生	29,621,224	28,703,736	917,488
員 福 利 厚 生	317,217	622,909	△ 305,692
員 福 利 厚 生	3,303,850	4,304,963	△ 1,001,113
員 福 利 厚 生	4,020,634	3,925,209	95,425
員 福 利 厚 生	1,533,470	1,899,822	△ 366,352
員 福 利 厚 生	19,321,912	20,327,953	△ 1,006,041
旅 通 車 減 価 値	150,230	89,268	60,962
旅 通 車 減 価 値	492,684	865,681	△ 372,997
衛 生 消 耗	77,814	339,520	△ 261,706
衛 生 消 耗	4,458,747	5,265,138	△ 806,391
衛 生 消 耗	374,710	677,723	△ 303,013
修 印 刷 繕	3,145,518	3,711,592	△ 566,074
燃 热	1,779,684	2,088,673	△ 308,989
光 貨	4,150,065	4,460,629	△ 310,564
貨 給	2,840,421	2,732,764	107,657
保 諸 租 税	1,942,586	2,283,593	△ 341,007
保 諸 租 税	1,890,398	2,162,928	△ 272,530
諸 費	1,036,000	461,200	574,800
諸 費	2,576,011	3,990,014	△ 1,414,003

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支 払 負 担 金	487,538	581,286	△ 93,748
委 託 費	7,738,198	16,540,685	△ 8,802,487
支 払 利 息	356,996	473,438	△ 116,442
支 扦 手 数 料	660,208	615,908	44,300
雜 賞 与 引 当 金 繰 入 費	132,810	111,442	21,368
管 理 費	7,336,700	6,817,772	518,928
役 員 報 酬	25,938,150	27,321,291	△ 1,383,141
給 料 手 当 費	8,335,584	8,727,166	△ 391,582
講 師 報 酉	5,073,412	4,980,306	93,106
中 退 金 繰 入 額	8,000	70,500	△ 62,500
職 員 福 利 厚 生 費	177,120	177,120	0
會 議 交 通 費	1,607,034	1,590,151	16,883
旅 通 信 運 搬 費	53,238	85,122	△ 31,884
減 價 償 却 費	3,100,577	3,250,500	△ 149,923
耗 消 什 器 備 品 費	170,039	247,996	△ 77,957
耗 消 修 印 刷 製 本 費	2,701,790	2,713,166	△ 11,376
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	21,186	0	21,186
耗 消 修 印 刷 製 本 費	115,991	88,599	27,392
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	11,514	60,602	△ 49,088
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	748,452	1,269,432	△ 520,980
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	6,514	6,690	△ 176
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	571,430	609,440	△ 38,010
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	446,506	447,446	△ 940
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	31,062	31,062	0
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	40,689	64,986	△ 24,297
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	501,856	467,595	34,261
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	1,649,256	1,814,021	△ 164,765
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	22,317	24,655	△ 2,338
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	121,816	178,908	△ 57,092
燃 光 貨 保 租 税 支 扦 負 担 金 費	422,767	415,828	6,939
經 常 費 用 計	318,866,922	341,095,210	△ 22,228,288
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 經 常 増 減 額	△ 12,765,062	△ 26,235,280	13,470,218
損 益 評 価 等 計	0	0	0
當 期 經 常 増 減 額	△ 12,765,062	△ 26,235,280	13,470,218
2. 經常外増減の部			
(1) 經 常 外 収 益			
固 定 資 產 売 却 益	1,998	1,549	449
車両運搬具売却益	1,998	1,549	449
經 常 外 収 益 計	1,998	1,549	449
(2) 經 常 外 費 用			
經 常 外 費 用 計	0	0	0
當 期 經 常 外 増 減 額	1,998	1,549	449
過 年 度 修 正 振 替	△ 992,471		△ 992,471
當 期 一 般 正 味 財 產 増 減 額	△ 11,770,593	△ 26,233,731	14,463,138
一 般 正 味 財 產 期 首 残 高	376,372,362	402,606,093	△ 26,233,731
一 般 正 味 財 產 期 末 残 高	364,601,769	376,372,362	△ 11,770,593
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	6,172,000	13,973,000	△ 7,801,000
募 金 収 益	6,172,000	13,973,000	△ 7,801,000
一 般 正 味 財 產 へ の 振 替 額	△ 13,130,071	△ 13,877,542	747,471
一 般 正 味 財 產 へ の 振 替 額	△ 13,130,071	△ 13,877,542	747,471
過 年 度 修 正 振 替	△ 992,471		△ 992,471
當 期 指 定 正 味 財 產 増 減 額	△ 7,950,542	95,458	△ 8,046,000
指 定 正 味 財 產 期 首 残 高	310,447,114	310,351,656	95,458
指 定 正 味 財 產 期 末 残 高	302,496,572	310,447,114	△ 7,950,542
III 正味財産期末残高	667,098,341	686,819,476	△ 19,721,135

正味財産増減
平成31年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各種事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	4,395,000	0	0	0	0
受取入会金	4,395,000	0	0	0	0
受取会費	22,452,000	0	0	0	0
正会員受取会費	22,452,000	0	0	0	0
事業収益	12,247,314	104,393,211	8,622,640	5,464,100	64,882,402
研修会事業収益	12,247,314	0	0	0	0
介護保険収益	0	37,055,004	0	0	60,894,952
療養費収益	0	64,774,467	0	0	0
利用料収益	0	2,563,740	0	245,340	3,984,450
居宅介護サービス計画費収益	0	0	8,622,640	0	3,000
療養通所介護費収益	0	0	0	5,218,760	0
施設使用料収益	0	0	0	0	0
販売手数料収益	0	0	0	0	0
事業受託収益	23,213,185	8,982,000	0	0	269,342
佐賀県受託事業収益	22,646,000	8,982,000	0	0	0
民間受託事業収益	567,185	0	0	0	269,342
受取補助金等	7,995,430	1,841,982	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	150,000	0	0	0
受取日本看護協会助成金	7,995,430	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	1,691,982	0	0	0
受取負担金	78,610	0	0	0	0
受取負担金	78,610	0	0	0	0
受取寄付金	8,482,883	0	0	0	249,331
受取寄付金	200,000	0	0	0	0
受取寄付金振替額	8,282,883	0	0	0	249,331
雑収益	207,287	617,958	6	35	51
受取利息	140,862	271	6	35	51
雑収益	66,425	617,687	0	0	0
経常収益計	79,071,709	115,835,151	8,622,646	5,464,135	65,401,126
(2) 経常費用					
事業費	78,203,986	129,305,220	11,351,690	5,480,100	67,123,925
役員報酬	2,043,750	0	0	0	0
給料手当	24,035,243	62,117,877	8,271,845	3,662,609	39,280,931
雇員報酬	640,000	20,994,990	0	0	9,568,457
講師報酬	9,109,110	265,000	0	0	30,000
臨時雇用賃金	4,922,474	1,887,000	0	0	0
退職給付費用	0	889,434	0	0	156,657
中退金繰入額	827,040	1,874,000	324,000	0	1,418,000
会員福利厚生費	0	0	0	0	0
職員福利厚生費	5,409,285	14,006,978	1,491,406	623,402	8,070,682
会議費	278,539	16,055	0	1,440	21,183
旅費	2,544,586	749,089	2,430	0	5,495
通信費	2,039,576	1,843,624	88,907	5,198	42,709
車両費	13,144	773,582	0	196,991	549,753
減価償却費	9,792,203	8,324,188	77,419	189,977	644,206
医療消耗器材費	0	100,230	0	0	50,000
衛生材料費	0	474,085	0	0	18,599
消耗什器備品費	77,418	0	0	0	0
消耗耗材品費	1,948,159	1,791,827	65,834	24,672	627,911
修繕費	93,975	245,790	0	0	33,694
印刷費	2,777,968	116,450	13,600	2,700	234,800
燃料費	23,836	1,276,635	23,817	33,620	421,664
光熱費	1,757,377	1,228,638	33,297	244,323	824,275
賃借料	1,413,819	1,040,825	28,728	79,664	276,665
給食料費	0	0	0	170,238	1,772,348
保険料	136,629	1,410,970	41,560	67,600	230,260

計算書内訳表

令和2年3月31日まで

(単位：円)

小計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	収1	他1	小計			
4,395,000	0	0	0	4,395,000	0	8,790,000
4,395,000	0	0	0	4,395,000	0	8,790,000
22,452,000	0	1,000,000	1,000,000	21,452,000	0	44,904,000
22,452,000	0	1,000,000	1,000,000	21,452,000	0	44,904,000
195,609,667	799,382	0	799,382	0	0	196,409,049
12,247,314	0	0	0	0	0	12,247,314
97,949,956	0	0	0	0	0	97,949,956
64,774,467	0	0	0	0	0	64,774,467
6,793,530	0	0	0	0	0	6,793,530
8,625,640	0	0	0	0	0	8,625,640
5,218,760	0	0	0	0	0	5,218,760
0	753,900	0	753,900	0	0	753,900
0	45,482	0	45,482	0	0	45,482
32,464,527	0	0	0	567,185	0	33,031,712
31,628,000	0	0	0	0	0	31,628,000
836,527	0	0	0	567,185	0	1,403,712
9,837,412	0	0	0	0	0	9,837,412
150,000	0	0	0	0	0	150,000
7,995,430	0	0	0	0	0	7,995,430
1,691,982	0	0	0	0	0	1,691,982
78,610	0	0	0	0	0	78,610
78,610	0	0	0	0	0	78,610
8,732,214	285,105	0	285,105	2,820,770	0	11,838,089
200,000	0	0	0	200,000	0	400,000
8,532,214	285,105	0	285,105	2,620,770	0	11,438,089
825,337	41,020	0	41,020	346,631	0	1,212,988
141,225	0	0	0	861	0	142,086
684,112	41,020	0	41,020	345,770	0	1,070,902
274,394,767	1,125,507	1,000,000	2,125,507	29,581,586	0	306,101,860
291,464,921	644,656	819,195	1,463,851	0	0	292,928,772
2,043,750	0	0	0	0	0	2,043,750
137,368,505	62,687	53,058	115,745	0	0	137,484,250
31,203,447	0	0	0	0	0	31,203,447
9,404,110	0	0	0	0	0	9,404,110
6,809,474	0	0	0	0	0	6,809,474
1,046,091	0	0	0	0	0	1,046,091
4,443,040	1,920	1,920	3,840	0	0	4,446,880
0	0	745,145	745,145	0	0	745,145
29,601,753	10,669	8,802	19,471	0	0	29,621,224
317,217	0	0	0	0	0	317,217
3,301,600	0	2,250	2,250	0	0	3,303,850
4,020,014	310	310	620	0	0	4,020,634
1,533,470	0	0	0	0	0	1,533,470
19,027,993	293,919	0	293,919	0	0	19,321,912
150,230	0	0	0	0	0	150,230
492,684	0	0	0	0	0	492,684
77,418	198	198	396	0	0	77,814
4,458,403	172	172	344	0	0	4,458,747
373,459	1,251	0	1,251	0	0	374,710
3,145,518	0	0	0	0	0	3,145,518
1,779,572	56	56	112	0	0	1,779,684
4,087,910	62,155	0	62,155	0	0	4,150,065
2,839,701	360	360	720	0	0	2,840,421
1,942,586	0	0	0	0	0	1,942,586
1,887,019	3,379	0	3,379	0	0	1,890,398

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各種事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
諸 謝 金	333,000	703,000	0	0	0
租 税 公 課 金	1,583,201	759,446	3,247	14,400	96,888
支 払 負 担 金	188,401	129,890	146,000	10,000	13,247
委 托 費 用	4,260,970	2,399,166	236,291	152,240	601,228
支 払 利 息	0	356,996	0	0	0
支 払 手 数 料	410,302	217,817	10,759	1,026	19,992
雜 費	72,941	38,138	0	0	21,731
賞 与 引 当 金 繰 入	1,471,040	3,273,500	492,550	0	2,092,550
管 理 費	0	0	0	0	0
役 員 報 酬	0	0	0	0	0
給 料 手 酬	0	0	0	0	0
講 師 報 酉	0	0	0	0	0
中 退 金 繰 入	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0
通 信 費	0	0	0	0	0
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0
消 耗 什 器 備 品	0	0	0	0	0
消 耗 品	0	0	0	0	0
修 繕 費	0	0	0	0	0
印 刷 費	0	0	0	0	0
燃 热 費	0	0	0	0	0
光 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
保 険 費	0	0	0	0	0
租 税 公 課 金	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0
委 托 費	0	0	0	0	0
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雜 費	0	0	0	0	0
賞 与 引 当 金 繰 入	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	78,203,986	129,305,220	11,351,690	5,480,100	67,123,925
評価損益等調整前当期経常増減額	867,723	△ 13,470,069	△ 2,729,044	△ 15,965	△ 1,722,799
損益評価等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	867,723	△ 13,470,069	△ 2,729,044	△ 15,965	△ 1,722,799
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固 定 資 産 売 却 益	0	1,998	0	0	0
車両運搬具売却益	0	1,998	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	1,998	0	0	0
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,998	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	867,723	△ 13,468,071	△ 2,729,044	△ 15,965	△ 1,722,799
他 会 計 振 替 額	71,376	△ 911,984	1,040,360	5,002	61,264
過 年 度 修 正 振 替	△ 987,968	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,927,067	△ 14,380,055	△ 1,688,684	△ 10,963	△ 1,661,535
一般正味財産期首残高	148,551,964	121,201,038	992,434	4,824,981	12,642,721
一般正味財産期末残高	150,479,031	106,820,983	△ 696,250	4,814,018	10,981,186
II 指定正味財産増減の部					
受 取 寄 付 金	6,172,000	0	0	0	0
募 金 収 益	6,172,000	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 8,312,104	△ 1,691,982	0	0	△ 220,110
一般正味財産への振替額	△ 8,312,104	△ 1,691,982	0	0	△ 220,110
過年度修正振替	△ 987,968	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 3,128,072	△ 1,691,982	0	0	△ 220,110
指定正味財産期首残高	248,825,599	16,531,116	0	9,912	531,988
指定正味財産期末残高	245,697,527	14,839,134	0	9,912	311,878
III 正味財産期末残高	396,176,558	121,660,117	△ 696,250	4,823,930	11,293,064

(単位 : 円)

小計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	収1	他1	小計			
1,036,000	0	0	0	0	0	1,036,000
2,457,182	118,829	0	118,829	0	0	2,576,011
487,538	0	0	0	0	0	487,538
7,649,895	84,705	3,598	88,303	0	0	7,738,198
356,996	0	0	0	0	0	356,996
659,896	308	4	312	0	0	660,208
132,810	0	0	0	0	0	132,810
7,329,640	3,738	3,322	7,060	0	0	7,336,700
0	0	0	0	25,938,150	0	25,938,150
0	0	0	0	8,335,584	0	8,335,584
0	0	0	0	5,073,412	0	5,073,412
0	0	0	0	8,000	0	8,000
0	0	0	0	177,120	0	177,120
0	0	0	0	1,607,034	0	1,607,034
0	0	0	0	53,238	0	53,238
0	0	0	0	3,100,577	0	3,100,577
0	0	0	0	170,039	0	170,039
0	0	0	0	2,701,790	0	2,701,790
0	0	0	0	21,186	0	21,186
0	0	0	0	115,991	0	115,991
0	0	0	0	11,514	0	11,514
0	0	0	0	748,452	0	748,452
0	0	0	0	6,514	0	6,514
0	0	0	0	571,430	0	571,430
0	0	0	0	446,506	0	446,506
0	0	0	0	31,062	0	31,062
0	0	0	0	40,689	0	40,689
0	0	0	0	501,856	0	501,856
0	0	0	0	1,649,256	0	1,649,256
0	0	0	0	22,317	0	22,317
0	0	0	0	121,816	0	121,816
0	0	0	0	422,767	0	422,767
291,464,921	644,656	819,195	1,463,851	25,938,150	0	318,866,922
△ 17,070,154	480,851	180,805	661,656	3,643,436	0	△ 12,765,062
0	0	0	0	0	0	0
△ 17,070,154	480,851	180,805	661,656	3,643,436	0	△ 12,765,062
1,998	0	0	0	0	0	1,998
1,998	0	0	0	0	0	1,998
1,998	0	0	0	0	0	1,998
0	0	0	0	0	0	0
1,998	0	0	0	0	0	1,998
△ 17,068,156	480,851	180,805	661,656	3,643,436	0	△ 12,763,064
266,018	△ 211,884	△ 54,134	△ 266,018	0	0	0
△ 987,968	△ 442	0	△ 442	△ 4,061	0	△ 992,471
△ 15,814,170	269,409	126,671	396,080	3,647,497	0	△ 11,770,593
288,213,138	8,152,139	535,425	8,687,564	79,471,660	0	376,372,362
272,398,968	8,421,548	662,096	9,083,644	83,119,157	0	364,601,769
6,172,000	0	0	0	0	0	6,172,000
6,172,000	0	0	0	0	0	6,172,000
△ 10,224,196	△ 285,105	0	△ 285,105	△ 2,620,770	0	△ 13,130,071
△ 10,224,196	△ 285,105	0	△ 285,105	△ 2,620,770	0	△ 13,130,071
△ 987,968	△ 442	0	△ 442	△ 4,061	0	△ 992,471
△ 5,040,164	△ 285,547	0	△ 285,547	△ 2,624,831	0	△ 7,950,542
265,898,615	4,370,797	0	4,370,797	40,177,702	0	310,447,114
260,858,451	4,085,250	0	4,085,250	37,552,871	0	302,496,572
533,257,419	12,506,798	662,096	13,168,894	120,672,028	0	667,098,341

財務諸表に対する注記

1. 繼続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券及び投資有価証券・・・・・移動平均法による原価基準によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のものは、通常の貸借取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円を超えるものは、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
施設整備積立金	0	7,034,000	0	7,034,000
看護センター準備積立金	122,500,946	6,282,138	0	128,783,084
土地	80,683,591	0	0	80,683,591
建物	191,426,307	0	6,261,990	185,164,317
建物附属設備	39,605,823	0	8,743,130	30,862,693
構築物	5,501,107	0	811,267	4,689,840
車両運搬具	1,138,816	0	900,204	238,612
什器備品	8,672,795	0	1,553,973	7,118,822
保証金	47,410	0	0	47,410
合 計	449,576,795	13,316,138	18,270,564	444,622,369

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
施設整備積立金	7,034,000	0	7,034,000	0
看護センター準備積立金	128,783,084	128,336,621	446,463	0
土地	80,683,591	0	80,683,591	0
建物	185,164,317	150,900,870	34,263,447	0
建物附属設備	30,862,693	20,113,267	10,749,426	0
構築物	4,689,840	2,152,410	2,537,430	0
車両運搬具	238,612	10	238,602	0
什器備品	7,118,822	983,484	6,135,338	0
保証金	47,410	9,910	37,500	0
合 計	444,622,369	302,496,572	142,125,797	0

6. 担保に供している資産

土地43,360,885円（帳簿価格）並びに建物36,153,072円（帳簿価格）は長期借入金17,127,000円の担保に供している。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	245,007,440	59,843,123	185,164,317
建 物 附 属 設 備	128,857,874	96,590,965	32,266,909
構 築 物	23,428,994	17,890,757	5,538,237
車両運搬具	23,359,223	21,694,755	1,664,468
什 器 備 品	64,573,491	53,912,667	10,660,824
リ 一 ス 資 産	4,173,120	3,576,960	596,160
合 計	489,400,142	253,509,227	235,890,915

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
R元年度佐賀県医療的ケア児等在宅支援事業補助金	佐 賀 県	0	150,000	150,000	0	—
R元年度教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	7,895,430	7,895,430	0	—
R元年度看護の普及啓発事業補助金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	—
H27年度佐賀県訪問看護ステーション規模拡大支援事業補助金	佐 賀 県	277,905	0	277,900	5	指定正味財産
H27年度サポートセンター事業補助金	佐 賀 県	51,030	0	7,560	43,470	指定正味財産
H26年度中小企業労働環境向上助成金	佐 賀 労 働 局	311,878	0	0	311,878	指定正味財産
H25年度介護福祉機器等助成金	佐 賀 労 働 局	681,153	0	52,482	628,671	指定正味財産
H24年度介護基盤緊急特別対策事業補助金	佐賀県中部広域連合	13,698,304	0	1,354,040	12,344,264	指定正味財産
H24年度施設開設準備促進事業補助金	佐賀県中部広域連合	1,453,281	0	0	1,453,281	指定正味財産
H24年度地域介護・福祉空間整備補助金	佐賀県中部広域連合	369,443	0	0	369,443	指定正味財産
合 計		16,842,994	8,145,430	9,837,412	15,151,012	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	13,130,071
合 計	13,130,071

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

令和2年3月31日現在

1 資金調達の実績について

該当なし。

2 設備投資の実績について

該当なし。

監 査 報 告 書

令和 2 年 5 月 12 日

公益社団法人 佐賀県看護協会

会 長 南 里 玲 子 様

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事 山根恵子 

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事 山下美智子 

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事 田村浩司 

私たち監事は、公益社団法人佐賀県看護協会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次とおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方針によって、当該事業年度に係る事業報告について監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第二号議案**令和3年度 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者（案）**

令和2年度通常総会後 令和3年度通常総会まで

代 議 員 7名

職能	氏名	勤務先	備考
保健師	大森日登美	唐津市役所	職能理事
助産師	南里美貴	佐賀大学医学部附属病院	
看護師	松岡周子	個人	職能理事
看護師	片桐都茂子	訪問看護ステーション陽だまり	職能理事
看護師	樋渡泉	佐賀県看護協会	副会長
看護師	前川律子	個人	
准看護師	北島由美	うえむら病院	

予備代議員 7名

職能	氏名	勤務先	備考
保健師	陣内祥子	佐賀県看護協会	常務理事
助産師	池邊美恵子	唐津赤十字病院	職能委員
看護師	重富祐子	個人	地区理事
看護師	成瀬弘美	唐津赤十字病院	
看護師	仲尾祐香	町立太良病院	
看護師	前田眞理子	個人	副会長
准看護師	田島由紀	白石共立病院	

第三号議案

令和2年度 改選役員及び推薦委員等の選出について

令和2年度 役員等改選候補者一覧

副会長候補

樋渡 泉

(68歳) 佐賀県看護協会



副会長として2期を務めました。変動する社会の中で、看護職能団体としての役割と発信力、事業推進の重要性を痛感しています。協会のより良い発展を目指し全力を尽くしていきたいと思います。

地区理事候補

重富 純子

(60歳) 個人



今年3月末にNHO佐賀病院を定年退職いたしました。

現在、個人会員となりました。これまでの経験を活かし微力ではありますが、佐賀県の看護協会活動の向上に繋がるように努力したいと思っております。

常務理事候補

前川 律子

(60歳) 個人



この度、常務理事として勤務させて頂くことになりました。
これまで臨床での経験しかなく、初めての仕事内容に不安も大きいですが、早く皆様のお役に立てるよう努力したいと思っています。よろしくお願い致します。

成瀬 弘美

(57歳) 唐津赤十字病院



看護副部長として勤務しております。
質の高い看護を提供することと、地域の皆様に安心していただけるよう日々奮闘しております。看護協会と連携をとりながら北部地区の協会事業を推進したいと思います。

職能理事候補

南里 美貴

(43歳) 佐賀大学医学部附属病院



現在、看護師長をしています。主な診療科は産婦人科です。助産師職能において、県内の助産師の技術向上、安全安心な育児に向けた切れ目ない支援の推進に努めたいと思います。

北島 由美

(44歳) 医療法人春陽会 うえむら病院



一般病棟で急性期・亜急性期患者様の看護を中心に勤務しています。
スタッフ間のコミュニケーションに努め、笑顔が多い職場づくりを心がけています。
どうぞよろしくお願ひします。

監事候補

山根 恵子

(68歳) 個人



2年間、監事として看護協会運営に関わりました。
地域包括ケアが推進され、看護職が担う役割は多岐にわたり高い専門性が求められています。地域のニーズに応えられる看護が提供できるよう協会活動に尽力いたします。

田村 浩司

(54歳) 田村公認会計士事務所

(会員外)



片桐都茂子

(60歳) 訪問看護ステーション陽だまり

在宅などで働く看護師のために、結束を固め、ともに学び、成長していきたいと思っています。現在、管理者及び訪問看護師として働いています。

推薦委員候補

山口栄一郎

(48歳) 国立病院機構 肥前精神医療センター
肥前精神医療センターで8年目になります。現在、慢性期病棟で副看護師長として勤務しています。今回、推薦委員として佐賀県看護協会のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。皆様、宜しくお願ひいたします。



鶴 大輔

(41歳) 整肢会 副島整形外科病院
武雄市の副島整形外科病院で勤務しています。病棟で勤務しており、主任業務を行っています。
今回、推薦委員として皆様とともに頑張りたいと思います。不慣れな点もあると思いますがよろしくお願いします。



山口 瞳

(41歳) 医療法人剛友会 諸隈病院
急性期・慢性期の混合型病棟で勤務しています。
常に患者様に寄り添う看護を提供できるように心掛けております。
また看護専門職としての知識と技術を身に着けて日々精進して参ります。



山田美穂子

(52歳) 医療法人春陽会 うえむら病院
医療療養病棟で勤務し、入院患者様やご家族様との関りを通し、看護職の役割の重要性を再認識しております。
「人として看護師として、心ある看護を行うこと」を心がけております。
どうぞよろしくお願いします。



山田 美恵

(43歳) 諸隈病院
外来看護師です。業務は、診察介助・処置・検査介助などです。
5月より新病院となりました。患者様に信頼して頂ける病院、もう一度この病院を利用したいと思って頂けるよう日々頑張っています。
看護協会に初めて携わります。色々な勉強をさせて頂きたいと思います。



推薦委員候補

井河 明美

(50歳) 医療法人博友会 堀田病院

初めまして、井河と申します。
外来師長として患者様に寄り添いながら、
気配り目配り目配り、笑顔でより良い看護
が提供できるよう取り組んでいます。



鷺崎 玲子

(40歳) 杵藤保健福祉事務所

保健師として、地域住民の健康づくりに
携わっています。今は、看護学生の実習指導
や結核患者の家庭訪問等を担当しています。
どうぞよろしくお願いします。



報告事項 1

2019年度 事業 報 告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。

事 業 項 目	内 容	
(1) 看護教育及び看護の質の向上に関する事業	ア 継続教育の企画、実施 ・一般研修 46コース 受講者2,724名（含非会員430名） ・2020年度 教育計画の企画・教育計画冊子の作成・広報 (説明会中止で、県内約160施設に郵送) イ 認定看護管理者研修 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル 5/17～11/29 ウ 佐賀県委託研修 ① 新人看護職員等研修会 ・新人看護職員多施設合同研修 4/10～5/24：110名 10/17：51名 2/6：44名 ・新人看護職員教育担当者研修会 11/11. 13：64名 11/27. 28：38名 12/3：25名 2/6：44名 ② 保健師助産師看護師実習指導者講習会 7/16～1/17 ③ 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野） 6/7～6/27 ④ がん看護研修会 ELNEC-J：7/20. 21：20名 9/10～11/17：42名 ⑤ 訪問看護師養成講習会 5/15～12/5 ⑥ 再就業支援研修会 7/12：4名 11/8：6名 9/30～10/7：5名 1/20～1/27：7名 ⑦ キラッピラチナース支援事業 9/26：28名 1/29：32名 ⑧ 佐賀県看護職員認知症対応力向上研修 10/6. 16. 30 エ インターネット配信研修（オンデマンド） ① 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 11/5. 6 ② 災害支援ナースの第一歩－災害看護の基本的知識－ 7/30. 31 オ その他の研修（支部における研修を含む） ① 看護必要度評価者院内指導者研修 6/30 ② 地区支部における研修会 東部：29名 西部：71名 中・南部：79名 北部：75名 ③ 関係機関との共催研修会 10/19「第3回九州・沖縄地区助産師職能合同研修会in佐賀」佐賀病院93名参加 ④ その他 ・看護師のクリニカルラダー研修 5/28 ・実習指導者講習会フォローアップ研修 8/22 ・ファーストレベル後フォローアップ研修 10/25 ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 11/18 ・セカンドレベル後フォローアップ研修 2/23 カ 委員会 ① 教育委員会 9回 ② 認定看護管理者教育運営委員会 5回 キ 日本看護協会との連携 ① 都道府県看護協会教育担当者会議 7/31 東京 ② 都道府県看護協会教育担当者研修会 ク 2020年度教育事業説明会 3/5:コロナ拡大防止の為中止	受講者 50名 43名 19名 26名→24名 38名 29名 92名 29名 54名 63名 29名 51名 8名 51名 8名

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

看護研究に取り組む意欲のあるものに関する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。

事 業 項 目	内 容
(1) 学会等学術の振興に関する事業	<p>ア 第38回佐賀県看護研究学会の開催企画運営 3/8 佐賀市文化会館中止 ① 看護研究演題の選考・支援採択 16件→発表14：口演8、示説6（16題：誌上発表とする） ② 「第38回佐賀県看護研究学会抄録集」は学会中止の為、施設へ郵送する</p> <p>イ 看護研究推進・相談・支援 ① 教育プログラムによる研修支援 Let's看護研究 4/22：43名 3/8：「研究テーマの絞り込み」中止 看護研究指導者サポート研修 6/11：39名 効果的なプレゼンテーション 9/19：31名 統計学 10/9.18：15名 ② 研究倫理委員会 迅速審査：6/13（1件） 1/17（1件）</p> <p>ウ 日本看護協会との連携</p>
(2) 図書室運営に関する事業	<p>ア 図書室の充実 ① 図書の利用（閲覧・貸出） 134名 ② 図書・教材等の整備PC利用 12名 ③ 文献情報の提供 ④ 文献活用の支援研究指導 8回 ⑤ 図書貸出業務 66名 イ 日本看護協会との連携 ① 都道府県看護協会図書室担当者研修会</p>

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業（公益目的事業）

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発を図り看護の質を向上させる。

事 業 項 目	内 容
(1) 看護業務の改善に関する事業	<p>ア 職能委員会活動 ① 保健師職能委員会・集会 7回 ② 保健指導ミーティング 12/7：50名 ・新任期保健師：1/24 50名 ③ 中堅期保健師研修（県主催） 7/12:15名 8/27:13名 10/29:13名 2/7:25名 4回 ④ 全国保健師職能委員長会 8/21 ⑤ 助産師職能委員会・集会 9回 ⑥ 全国助産師職能委員長会 8/21 ⑦ 看護師職能委員会 I・集会 8回 ⑧ 全国看護師職能委員会 I 委員長会 8/21 ⑨ 看護師職能委員会 II・集会 9回 ⑩ 全国看護師職能委員会 II 委員長会 8/21 イ 地方公共団体等への政策提言要望書 4師会で提出</p>

事 業 項 目	内 容
(2) 看護制度の改善に関する事業	<p>ア 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報の提供と啓発 ① 日本看護協会と連携した情報の発信 施設代表者会議で検討 7/27：2施設から現状報告。その後GW ② 広報活動の推進</p> <p>イ 看護大学への支援 西九州大学との教育課程についての意見交換会 9/19 大学：3名、協会：4名参加</p> <p>ウ 准看護師への支援 ① 准看護師研修・交流会開催（会員・非会員） 11/29：8名 • 看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 • 日本看護協会奨学金制度の紹介 • 准看護師からの相談対応 • 「安全な看護提供をするための業務範囲に関する課題」についてのDVD活用 • 機関誌（さが看護協会だより）にて情報提供（会員・非会員）</p> <p>エ 看護師教育制度に関する情報提供 ① 看護師を目指す中・高校生、社会人への対応 ② 中・高校生への進学指導教師への看護進学に関する情報の提供 ③ 県民への啓発</p> <p>オ 看護制度委員会 3/18</p> <p>カ 日本看護協会との連携 准看護師制度担当者会議は中止。資料をまとめ、准看護師交流会で情報提供</p> <p>佐賀県との連携 看護フェスタでの広報等 9/28実施</p>
(3) 医療・看護の安全対策に関する事業	<p>ア 医療安全管理体制の推進 ① 医療安全の研修会 6/8：43名参加 ② 医療安全管理者交流会 10/29：46名 ③ 医療安全相談対応（ホームページ掲載） ④ 佐賀県医療事故調査等支援団体連絡協議会との連携（医師会主催） • 3/7.8 広島での研修へ1名の推薦 ⑤ 佐賀県医療安全協議会との連携（健康福祉部医務課主催） 2/13出席</p> <p>イ 医療看護安全啓発 ① 医療安全情報提供（ホームページ掲載等） ② 医療安全推進週間啓発ポスター掲示</p> <p>ウ 看護職賠償責任保険の情報提供 研修会 12/11 東京</p> <p>エ 特別委員会：医療看護安全推進委員会 6回</p> <p>オ 日本看護協会との連携 医療安全推進会議（日看協主催）：年1回 12/11</p>

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業（公益目的事業）

訪問看護・居宅介護事業での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事 業 項 目	内 容
(1) 訪問看護ステーション事業	<p>ア 質の高い訪問看護サービスの提供 訪問看護の利用者数：1,396人</p> <p>イ 経営の安定化にむけた対策の実施 訪問回数：11,197件</p> <p>ウ 訪問看護師の質の向上及び職員体制の強化 新規利用者：62人</p> <p>エ 介護者・家族へのサポート強化 終了者62人、在宅死16人</p> <p>オ 在宅サービス提供者との連携強化 R2.4.1からコンサルタント依頼する週1回程度</p>

事業項目	内容
	<p>カ 実習生の受け入れ、教育研修への積極的な協力 受入：69人 日数：98日 延べ238人</p> <p>キ 各種訪問看護関連研修会・学会への参加 講師派遣：18件 視察：3件 会議・委員会：27件 研修会参加：29人</p>
(2) 訪問看護サポートセンター運営事業	<p>ア 人材育成・人材確保事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 訪問看護の質の向上のための研修 合計：333人 4/20：22名 5/25：34名 7/27：58名 8/31：46名 9/20：51名 11/29：48名 12/21：55名 1/25：19名 ② 新卒等訪問看護師の育成支援 嬉野医療センター実習打合：6/19. 7/9 佐賀大学：10/3 SAGA新卒訪問看護師育成支援プログラム評価検討会 10/9. 3/6 <p>R2.4.1付プログラム対象者1名予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 訪問看護ステーション管理者研修 6/29：30名 ④ 医療機関からの交流派遣研修 6/24～28：2名 1/7.8：1名 ⑤ 看護職、看護学生等研修生受入 <p>イ 小規模事業所支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 研修会、勉強会への講師派遣 ② 新任看護師の実施研修受け入れ支援 11月：アンケート実施 新卒の採用予定等 17施設 ③ 医療機関と訪問看護事業所との交流 6/18：伊万里・有田地区在宅看護支援者連絡会へ参加 <p>ウ 相談対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 訪問看護事業所等からの訪問看護等に関する相談 相談件数：381件 来所：67件 出張：6件 メール・Fax：2件 <p>エ 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 広報 ホームページ更新：研修案内、図書貸出案内 ケアマネージャーへの訪問看護利用促進 <p>オ その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和元年8月豪雨災害による県内ステーションの被害状況把握のアンケート実施 被害あり5件（床上2件、車3件10台） 避難所へ訪問した人3名 ② 12/6：日本看護サミット・訪問看護サミット参加 ③ 10/26：第1回佐賀県訪問看護ステーション管理者会案内・受付 ④ 2/14：日本看護協会主催令和元年度訪問看護連絡協議会参加
(3) 居宅介護支援事業	<p>ア 居宅介護支援の推進 サービス計画作成件数：684件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者確保 ② 介護支援サービスの調整 ③ 地域における関係機関との連携強化
(4) 療養通所介護事業	<p>ア 療養通所介護の促進 利用者：98人 通所回数：430回</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中重症度・医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援 安全・サービス管理委員会 2回 ② 「社会福祉士及び介護福祉士に基づく特定行為業務を行う事業所の新規登録」 県から通知 10/1付

事業項目	内容
(5) 地域密着型サービス事業（複合型サービス事業）	<p>ア 複合型サービスの普及・促進 利用者：227人</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供 日本看護協会モデル事業実施：「地域共生拠点に関する試行事業」セミナー等実施 ② 複合型サービスの普及・促進 ケアステーション「野の花」運営推進会議：6回 ③ 「社会福祉士及び介護福祉士に基づく特定行為業務を行う事業所の新規登録」 県から通知10/1付
(6) その他の事業	<p>ア 訪問看護に関わる関連団体との連携・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 佐賀県訪問看護推進連絡協議会との連携 ② 訪問看護振興財団との連携 ③ 全国訪問看護連絡協議会 2/14 ④ 全国訪問看護担当者会議 ⑤ 日本看護協会との連携 <p>イ 訪問看護ステーションの広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 訪問看護ステーションホームページ更新 ② 地域住民へのステーションイベントへの招待 2019年度日本看護協会モデル事業の実施 <p>ウ 訪問看護ステーション運営会議 4回 4/23 7/23 10/15 1/28</p>

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（公益目的事業）

看護職が働きづけられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図る事により、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。

事業項目	内容
(1) 働きやすい労働環境づくりの推進	<p>ア 看護職の定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本看護協会との連携 看護労働担当者会議 5/22 都道府県看護協会政策責任者会議 9/26 ② 佐賀県等との連携 医療勤務環境改善支援センター運営協議会 6/27 ③ 社会経済福祉委員会 4/19. 5/17. 7/2. 9/20. 11/22. 12/18. 1/17 7回 ・「佐賀県のハラスマント体制の現状」調査終了 68施設に調査表配布 45施設回答、回収率（66%） ④ WLBに関する研修・研究・調査・検討 6/4 睡眠の質：42名 7/10 人間関係とリスクマネージメント：44名 1/14 人生設計を視野にいれたキャリアアッププラン：14名
(2) 看護職の就業支援事業	<p>ア ナースセンター事業の推進（佐賀県からの委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ナースバンク事業 <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業紹介事業・NCCSによる求人・求職の登録・管理・支援・推進 11/15：パソコン2台Windows 7から切替 求人求職者：181名（常勤：82、非常勤：44、臨時55） 流出：6名 流入：14名 求人相談：394名 求職相談：1,003名 進路相談：3名 その他：534名 合計：1,934名 ・看護職員の離職・需要調査 7月に実施 回収率57.4% 離職率9.4% ・移動職業相談 県内6か所のハローワークにおける移動就業相談 168名 ・施設訪問 西部地区3施設 東部地区8施設 看護学校延べ8校

事業項目	内容
	<p>② 看護のこころ普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日・看護週間行事の実施 27施設 1,835名参加 医療従事者：418名 3月～5月に実施 ・ナースセンター事業の広報活動の強化（非会員医療施設への機関誌配布） ・看護夢ナビ事業 ・ふれあい看護体験企画・実施 7/24～8/21（延べ29日） 253名参加（38高等学校） 36施設 ・看護ふれあいフェスタ 9/28：102名参加（49名外部） 広報：全医療施設、市町村、医師会等 ・看護体験教室 8/16～8/20：5日間（2h） 84名参加 ・看護職志望者への広報 行事等への参加・広報 ・出前講座（中学・高校生への職業講話） 10/1：北方中学校 10/8：牛津高校 ・中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供 佐賀県内高校・中学校にフェスタ案内送付 <p>③ 看護職員の復職支援強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護職員の再就業支援研修会の実施（2回） <ul style="list-style-type: none"> 1日コース 7/12：4名、11/8：6名 6日コース 9/30～10/7：4名、1/20～1/27：7名 修了者5名 ・求人求職合同面談会 福祉マンパワー合同就職面談会 7/10：8名相談者 ・看護職員の復職支援強化事業 看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知、登録推進 ケーブルテレビ7カ所：1か所出演、6か所テロップ ハローワークにチラシ配布 離職届出登録者：112名 うち求職登録者数：47名 施設訪問説明（11月～12月） 10月：3施設 12月：5施設 11/11：80施設に代行届出依頼と記載についてのマニュアル送付 イ ナースセンター事業担当者会議・研修会 5/23 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県ナースセンター地区別意見交換会 9/12 ナースセンター事業機能評価（試行版）についての説明 ウ ナースセンター相談員連絡会 5/24 エ 行政・関係機関との連携強化勤務環境開発支援センターとの連携 オ 会議、研修会等での周知 <ul style="list-style-type: none"> ・キラッとプラチナナース支援事業研修会でナースバンクについて説明（30分） 9/26, 1/29 「知ってとくする年金等・税金、雇用・健康保険の基礎知識」

6. 災害による被災者の支援に関する事業（公益目的事業）

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。一方佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護活動を行う事業である。

事業項目	内容
(1) 災害時看護活動に関する事業	<p>ア 災害支援ナースの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害支援ナースの基礎編（インターネット配信研修） 7/30, 31 29名参加 ② 災害支援ナース実務編研修 10/23, 24 13名 ③ 災害支援ナース登録者研修交流会 12/12 50名 <p>イ 災害支援活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害支援ナース登録促進と体制づくり 災害支援ナース報告会 11/8 24名

事 業 項 目	内 容
	<p>② 災害支援ナース登録 現在数 58名</p> <p>③ 日本看護協会災害支援ナース派遣訓練 11/5～11/7</p> <p>④ 災害看護支援要綱及びマニュアル改定 「災害看護支援要綱－災害看護支援マニュアル」改定</p> <p>⑤ 佐賀県豪雨灾害「災害支援ナース」派遣 派遣期間 9/4～9/30 派遣のべ91人 27日間 大町町総合保健福祉センターと大町町公民館</p> <p>⑥ 災害看護委員会 4/24. 5/29. 7/24. 9/24. 11/8. 12/12. 2/26 7回</p> <p>⑦ 佐賀県防災会議、災害訓練等への参画 11回</p> <p>⑧ 都道府県看護協会災害看護担当者会議 9/12</p>

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

地域での健康相談・啓発等を行なうことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事 業 項 目	内 容
(1) 看護の普及活動事業	<p>ア 看護の日・看護週間行事の実施（5. (2) 再掲）</p> <p>① 佐賀県看護協会主催 看護の日・看護週間の周知 健康相談・助言 ポスター・チラシ等の配布・活用</p> <p>② 地区支部（5地区）主催 看護の日・看護週間の周知 健康相談・助言 イベント実施 ポスター・チラシ等の配布・活用</p>
(2) 看護体験等による普及啓発活動	<p>ア 看護体験を主とした普及活動 看護夢ナビ事業推進委員会 6/18. 9/17. 2/18 3回</p> <p>① 看護夢ナビ事業（再掲） 看護ふれあいフェスタ 9/28 102名</p> <p>② ふれあい看護体験の企画、実施 高校生の1日体験</p> <p>イ 看護師になるための進路相談</p> <p>① 中学生・高校生への進路相談・PR</p> <p>② 出前講座（中高への職業講話） 北方中 10/1 牛津高校 10/18</p> <p>③ 中・高進路指導教師への看護進学に関する情報の提供</p>
(3) 地域住民の健康づくり事業	<p>ア 健康相談事業の充実</p> <p>① まちの保健室活動 延べ4か所 相談者：174人 相談件数：318件 内容：血圧測定、健康相談等</p> <p>② 生活習慣病予防に関する啓蒙活動</p> <p>③ がん看護・緩和ケアに関する相談 乳がんモデル触診（4か所）：まちの保健室活動</p> <p>④ 各イベントでの健康相談 5支部の活動：5か所で実施 相談者数：126件 9/14～10/26</p> <p>イ 出前事業</p> <p>① 思春期教育出前講座</p> <p>② 性感染症の知識と予防普及</p> <p>ウ 健康に関する研修会の開催</p> <p>エ 地域行政との連携地域住民に関する保健医療関連行事等への参加協力</p>

5. (2)
ナースセ
ンター事
業推進と
同じ。

8. 施設の貸与事業（公益目的事業）

事 業 項 目	内 容
(1) 施設の貸与推進	<p>ア 施設の活用</p> <p>① 関連団体への貸出、研修会、会議室等の貸出し 16件</p>

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／収益事業／法人事業）

事 業 項 目	内 容
(1) 組織強化	<p>ア 会員の増加拡大</p> <p>会員数5,607名：保健師199名、助産師116名、看護師5,009名、准看護師283名 (R2.3.31)</p> <p>① 新入会者や入会者への特典の実施 2019.4.1より開始し、施設訪問時に広報</p> <p>② 会員の効率的登録管理広報：延59施設を延104人（役員、地区理事、会員委員会、ナースセンター、連盟）で施設訪問</p> <p>③ 加入者・未加入施設及び福祉介護施設に本会機関誌、教育計画冊子を送付</p> <p>④ 看護学校入学式・戴帽式・卒業式への出席</p> <p>入学式：10校、祝電2校 戴帽式：8校 卒業式：1校、祝電6校</p> <p>⑤ 学生と新卒者へのPR 会員委員会の活動 8回 2月看護学生へ広報（延8校）</p> <p>⑥ 退職会員への加入継続の働きかけ 退会時の理由書確認</p> <p>⑦ 地区支部への連携・支援 地区長会議：7/13 理事会での情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各支部との情報交換による連携強化 ・地区支部活動への支援地区長会議で会計についての説明 <p>⑧ 日本看護協会との連携 会員管理システムの運用 担当者会議：11/13</p>
(2) 円滑な組織運営	<p>ア 総会の開催</p> <p>① 通常総会 2019年6月22日（土） 佐賀市文化会館 参加者：4,465名</p> <p>イ 組織運営に関する会議の開催、運営</p> <p>① 理事会 年8回以上 9回</p> <p>② 常任理事会 年8回以上 8回</p> <p>③ 会計監査 5/15実施</p> <p>④ 合同職能委員・常任委員会 年1回 7/2:64名</p> <p>⑤ 地区支部長会議 7/13 支部長5名 会計3名</p> <p>⑥ 各職能委員会 3. 看護業務、看護制度の改善事業アに掲載</p> <p>⑦ 常任委員会 (①社会経済福祉委員会②教育委員会③広報出版委員会④会員委員会 ⑤推薦委員会⑥選挙管理委員会)</p> <p>⑧ 各特別委員会 (①医療安全推進委員会②看護夢ナビ事業推進委員会③訪問看護推進委員会④看護制度委員会⑤認定看護管理者教育運営委員会⑥まちの保健室事業推進委員会⑦災害看護委員会⑧研究倫理委員会)</p> <p>ウ 日本看護協会との連携</p> <p>① 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 5/18</p> <p>② 日本看護協会通常総会出席（代議員6名、予備代議員6名） 2019年6月6日（木） 函館アリーナ</p> <p>③ 全国職能別交流集会 2019年6月7日（金） 函館アリーナ</p> <p>④ 日本看護協会理事会 6回/年6回</p> <p>⑤ 中央法人会員会 6回/年5回</p> <p>⑥ 地区別法人会員会及び職能委員長会 10/31: 地区別法人会 11/1: 地区別法人会意見交換会 11/1: 職能委員長会（職能理事4名） 11/1: 午後地区別・職能・会長等理事会</p>

事業項目	内容
	<p>エ 選挙管理委員会 3回</p> <p>オ 推薦委員会 9月号広報誌に推薦・立候補についてのお知らせ掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 改選役員等及び推薦候補者の推薦 6回 ② 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の推薦 <p>カ 運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 業務分掌の検討 ② 諸規定の整備 <p>キ 会員登録事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新規・継続会員の受付、ナースシップの運用・管理 ② 新会員情報管理体制（ナースシップ）担当者会議 11/13
(3) 協会活動に関する広報活動推進	<p>ア 機関誌発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ① さが看護協会だより発刊 5月・9月・1月：3回 ② 広報出版委員会 10回 ③ 都道府県看護協会広報担当役員会議 2/28：中止
(4) 地域社会への広報活動	<p>ア 実施内容は、「7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業」参照</p>
(5) 行政機関・関連団体との連携	<p>ア 行政・関連機関・他団体委員会への参画 113件の会議参加</p> <p>イ 看護連盟、四師会（医師会、薬剤師会、歯科医師会）との情報交換</p> <p>日本看護連盟通常総会 6/14 連盟会員と参加</p> <p>佐賀県看護連盟との意見交換会 8/26, 10/7</p> <p>四師会 2/6：6名参加（ニューオータニ佐賀）佐賀県へ提案事項説明</p> <p>ウ 関係団体の後援・推薦・協賛等への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 名義後援：38件 ② 看護師派遣 <p>全国障害者スポーツ大会 5月：6名 10月：8名</p> <p>国民体育大会九州ブロック大会 7・8月：69名</p> <p>総合文化祭 7月：14名</p> <p>大麻旗争奪剣道大会 8月：4名</p> <p>佐賀県障がい者スポーツ大会：10月 8名</p> <p>県内企業合同説明会：12/5, 6, 7 3名</p> <p>桜マラソン 3月：中止</p>
(6) 会員の福利厚生	<p>ア 会員表彰 日本看護協会長表彰者推薦 横田栄子様が授賞</p> <p>イ 各種表彰候補者推薦等</p> <p>佐賀県看護協会長表彰者：15名</p> <p>看護事業功労者知事感謝状：5名</p> <p>ウ 会員特典の運用や広報 理事会や施設訪問等で広報</p> <p>エ 会員の慶事等 結婚式祝電：24件弔電：1件</p> <p>オ レジャー施設入場支援 ハーモニーランド利用者：1,046名</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保養施設の優待、佐賀マッサージ協会優待

報告事項 2

令和2年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を公益社団法人日本看護協会と連携し、以下のとおり行う。

事業計画は、定款第4条の9つの事業に沿って掲載

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業
4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業
5. 看護職の労働環境等の改善促進に関する事業
6. 災害による被災者の支援に関する事業
7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- 【重点事業】**
1. 看護の連携強化による地域包括ケアの推進
 2. 看護職が働き続けられる職場環境づくりの推進
 3. 看護の質の向上のための継続教育の充実
 4. 会員拡大による組織強化

下線は変更事項

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。

事 業 項 目	内 容
(1) 看護教育及び看護の質の向上に関する事業	<p>ア 継続教育の企画、実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般研修 <u>36コース</u> ・2021年度 教育計画の企画・教育計画冊子の作成・広報 <p>イ 認定看護管理者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル 114時間 ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル <u>183時間</u> <p>ウ 佐賀県委託研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新人看護職員等研修会 ・新人看護職員多施設合同研修 ・新人看護職員教育担当者研修会 ② 保健師助産師看護師実習指導者講習会 ③ 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野） ④ がん看護研修会 ⑤ 訪問看護師養成講習会 ⑥ 再就業支援研修会 年2回 ⑦ キラッとプラチナース支援事業 ⑧ 佐賀県看護職員認知症対応力向上研修 <p>エ インターネット配信研修（オンデマンド）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ② 災害支援ナースの第一歩－災害看護の基本的知識－ <p>オ その他の研修（支部における研修を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護必要度評価者院内指導者研修 ② 地区支部における研修会 ③ 関係機関との共催研修会 ④ その他 <p>カ 委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教育委員会 ② 認定看護管理者教育運営委員会 5回/年 <p>キ 日本看護協会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 都道府県看護協会教育担当者会議 ② 都道府県看護協会教育担当者研修会 <p>ク 2021年度教育事業説明会</p>

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

看護研究に取り組む意欲のあるものに対する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。

事業項目	内 容
(1) 学会等学術の振興に関する事業	<p>ア 第39回佐賀県看護研究学会の開催企画運営 令和3年3月6日(土)予定 佐賀市文化会館にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護研究演題の選考・支援 ② 「第39回佐賀県看護研究学会抄録集」の発行 <p>イ 看護研究推進・相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教育プログラムによる研修支援 ② 研究倫理委員会 <p>ウ 日本看護協会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本看護学会運営会議
(2) 図書室運営に関する事業	<p>ア 図書室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 図書の閲覧・貸出 ② 図書・教材等の整備 ③ 文献情報の提供 ④ 文献活用の支援 ⑤ 図書貸出業務 <p>イ 日本看護協会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 都道府県看護協会図書室担当者研修会

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業（公益目的事業）

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発を図り看護の質を向上させる。

事業項目	内 容
(1) 看護業務の改善に関する事業	<p>ア 職能委員会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保健師職能委員会・集会 ② 保健指導ミーティング ③ 中堅期保健師研修 ④ 全国保健師職能委員長会 ⑤ 助産師職能委員会・集会 ⑥ 全国助産師職能委員長会 ⑦ 看護師職能委員会 I ・集会 ⑧ 全国看護師職能委員会 I 委員長会 ⑨ 看護師職能委員会 II ・集会 ⑩ 全国看護師職能委員会 II 委員長会 <p>イ 地方公共団体等への政策提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 佐賀県へ要望書提出
(2) 看護制度の改善に関する事業	<p>ア 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報の提供と啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本看護協会と連携した情報の発信 ② 広報活動の推進 <p>イ 看護大学への支援</p> <p>ウ 准看護師への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 准看護師研修・交流会開催（会員・非会員） <ul style="list-style-type: none"> ・看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 ・日本看護協会奨学金制度の紹介 ・准看護師からの相談対応 ・「安全な看護提供をするための業務範囲に関する課題」についてのDVD活用 ・機関誌（さが看護協会だより）にて情報提供（会員・非会員） <p>エ 看護師教育制度に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護師を目指す中・高校生、社会人への対応 ② 中・高校生への進学指導教師への看護進学に関する情報の提供 ③ 県民への啓発 <p>オ 看護制度委員会</p> <p>カ 日本看護協会との連携 全国准看護師制度担当者役員会議</p>

事業項目	内容
(3) 医療・看護の安全対策に関する事業	<p>ア 医療安全管理体制の推進 ① 医療安全研修会 ② 医療安全管理者交流会 ③ 医療安全相談対応 (HP掲載) ④ 佐賀県医療事故調査等支援団体連絡協議会との連携 (医師会主催) 年1回 ⑤ 佐賀県医療安全協議会との連携 (健康福祉部医務課主催) 年1回</p> <p>イ 医療看護安全啓発 ① 医療安全情報提供 (ホームページ掲載等) ② 医療安全推進週間啓発ポスター掲示</p> <p>ウ 看護職賠償責任保険の情報提供</p> <p>エ 特別委員会: 医療看護安全推進委員会 年間6回、医療安全管理者交流会含む</p> <p>オ 日本看護協会との連携医療安全推進会議 (日看協主催): 年1回</p>

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業 (公益目的事業)

訪問看護・居宅介護事業での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内容
(1) 訪問看護ステーション事業	<p>ア 質の高い訪問看護サービスの提供 イ <u>経営の安定化にむけた対策の実施</u> ウ 訪問看護師の質の向上及び職員体制の強化 エ 介護者・家族へのサポート強化 オ 在宅サービス提供者との連携強化 カ 実習生の受け入れ、教育研修への積極的な協力的な協力 キ 各種訪問看護関連研修会・学会への参加</p>
(2) 訪問看護サポートセンター事業	<p>ア 人材育成・人材確保事業 ① 訪問看護の質の向上のための研修 ② 新卒等訪問看護師の育成支援 ③ 訪問看護ステーション管理者研修 ④ 医療機関からの交流派遣研修 ⑤ 看護職、看護学生等研修生受入</p> <p>イ 小規模事業所支援事業 ① 研修会、勉強会への講師派遣 ② 新任看護師の実施研修受け入れ支援 ③ 医療機関と訪問看護事業所との交流</p> <p>ウ 相談対策事業 ① 訪問看護事業所等からの訪問看護等に関する相談対応</p> <p>エ 普及啓発事業 ① 広報 オ その他の事業</p>
(3) 居宅介護支援事業	<p>ア 居宅介護支援の推進 ① 利用者確保 ② 介護支援サービスの調整 ③ 地域における関係機関との連携強化</p>
(4) 療養通所介護事業	<p>ア 療養通所介護の促進 <u>一時休止</u> ① 中重症度・医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援</p>
(5) 地域密着型サービス事業 (複合型サービス事業)	<p>ア 複合型サービスの普及・促進 ① 利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供 ② 複合型サービスの普及・促進</p>
(6) その他の事業	<p>ア 訪問看護に関わる関連団体との連携・協力 ① 佐賀県訪問看護推進連絡協議会との連携 ② 訪問看護振興財団との連携 ③ 全国訪問看護連絡協議会</p>

事業項目	内容
	<p>④ 全国訪問看護担当者会議 ⑤ 日本看護協会との連携 イ 訪問看護ステーションの広報の充実 ① 訪問看護ステーションホームページ更新 ② 地域住民へのステーションイベントへの招待 訪問看護PR ウ 訪問看護ステーション運営会議 年4回</p>

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（公益目的事業）

看護職が働きづけられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図る事により、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。

事業項目	内容
<p>(1) 働きやすい労働環境づくりの推進</p> <p>(2) 看護職の就業支援事業</p>	<p>ア 看護職の定着促進</p> <p>① 日本看護協会との連携 看護労働担当者会議 都道府県看護協会政策責任者会議 ② 佐賀県等との連携 医療勤務環境改善支援センター運営協議会 ③ 社会経済福祉委員会 年8回 ④ WLBに関する研修・研究・調査・検討 研修2回</p> <p>ア ナースセンター事業の推進（佐賀県からの委託）</p> <p>① ナースバンク事業 • 無料職業紹介事業 • NCCSによる求人・求職の登録・管理・支援・推進 • 看護職員の離職・需要調査・離職調査 7月実施 県内の病院・診療所・老人保健施設等 • 移動職業相談 県内6か所のハローワークにおける移動就業相談</p> <p>② 看護のこころ普及・啓発 • 看護の日・看護週間行事の実施 • ナースセンター事業の広報活動の強化（非会員医療施設への機関誌配布） • 看護夢ナビ事業 • ふれあい看護体験企画・実施 • 高校生の1日看護体験 • 看護ふれあいフェスタ <u>ナイチンゲール生誕祭と合わせ特別講演の実施（佐賀県との共催）</u> • 看護体験教室（夏休み期間） • 看護職志望者への広報 進路相談、PR • 出前講座（中学・高校生への職業講話） • 中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供</p> <p>③ 看護職員の復職支援強化事業 • 潜在看護職員の再就業支援研修会の実施（2回） • 求人教職合同面談会 • 看護職員の復職支援強化事業 看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知、登録推進 施設訪問説明（11月～12月）</p> <p>イ ナースセンター事業担当者会議・研修会</p> <p>ウ ナースセンター相談員連絡会</p> <p>エ 行政・関係期間との連携強化 勤務環境開発支援センターとの連携</p> <p>オ 会議、研修会等での周知</p>

6. 災害による被災者の支援に関する事業（公益目的事業）

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。一方佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護活動を行う事業である。

事業項目	内容
<p>(1) 災害時看護活動に関する事業</p>	<p>ア 災害支援ナースの育成</p> <p>① 災害支援ナースの基礎編（インターネット配信研修） ② 災害支援ナース実務編研修 ③ 災害支援ナース登録者研修</p>

事業項目	内容
	<p>イ 災害支援活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害支援ナース登録促進と体制づくり ② 災害支援ナース登録 ③ 日本看護協会災害支援ナース派遣訓練 ④ 災害看護支援要綱及びマニュアル改定 ⑤ 災害時「災害支援ナース」の調整・派遣 ⑥ 災害看護委員会 ⑦ 佐賀県防災会議、災害訓練等への参画 ⑧ 都道府県看護協会災害看護担当者会議

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業

地域での健康相談・啓発等を行なうことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内容
(1) 看護の普及活動事業	<p>ア 看護の日・看護週間行事の実施（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 佐賀県看護協会主催 看護の日・看護週間の周知 健康相談・助言 ポスター・チラシ等の配布・活用 ② 地区支部（5地区）主催 看護の日・看護週間の周知 健康相談・助言 イベント実施 ポスター・チラシ等の配布・活用
(2) 看護体験等による普及啓発活動	<p>ア 看護体験を主とした普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看護夢ナビ事業（再掲） 看護ふれあいフェスタ 看護体験教室（夏休み期間） 看護夢なび事業推進委員会 ② ふれあい看護体験の企画、実施 高校生の1日体験 <p>イ 看護師になるための進路相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中学生・高校生への進路相談・PR ② 出前講座（中高への職業講話） ③ 中・高進路指導教師への看護進学に関する情報の提供
(3) 地域住民の健康づくり事業	<p>ア 健康相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① まちの保健室活動 健康相談 ② 生活習慣病予防に関する啓蒙活動 ③ がん看護・緩和ケアに関する相談 ④ 各イベントでの健康相談 <p>イ 出前事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 思春期教育出前講座（小学校、中学校、高校、PTA等） ② 性感染症の知識と予防普及 <p>ウ 健康に関する研修会の開催</p> <p>エ 地域行政との連携 地域住民に関する保健医療関連行事等への参加協力</p>

8. 施設の貸与事業（公益目的事業）

事業項目	内容
(1) 施設の貸与推進	<p>ア 施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 関連団体への貸出、研修会、会議室等の貸出し

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／収益事業／法人事業）

事業項目	内容
(1) 組織強化	<p>ア 会員の増加拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新入会者や入会者への特典の実施 新入会者の1年間の研修無料 ポイント制導入 ポイント制の広報 ② 会員の効率的な登録管理 ③ 加入者・未加入施設及び福祉介護施設に本会機関誌、教育計画冊子を送付 ④ 看護学校入学式・戴帽式・卒業式への出席 ⑤ 学生と新卒者へのPR会員委員会の活動 年7回 看護学校への訪問

事 業 項 目	内 容
(2) 円滑な組織運営	<p>⑥ 退職会員への加入継続の働きかけ ⑦ 地区支部への連携・支援 　・各支部との情報交換による連携強化 　・地区支部活動への支援 ⑧ 日本看護協会との連携 会員管理システムの運用</p> <p>ア 総会の開催 ① 通常総会 令和2年6月27日(土) 佐賀市文化会館</p> <p>イ 組織運営に関する会議の開催、運営 ① 理事会 年8回以上 ② 常任理事会 年8回以上 ③ 会計監査 2019年度事業会計監査 ④ 合同職能委員・常任委員会 年1回 ⑤ 地区支部長会議 年1回以上 ⑥ 各職能委員会 3. 看護業務、看護制度の改善事業アに該当 ⑦ 常任委員会 (①社会経済福祉委員会 ②教育委員会 ③広報出版委員会 ④会員委員会 　⑤推薦委員会 ⑥選挙管理委員会) ⑧ 各特別委員会 (①医療安全推進委員会 ②看護夢ナビ事業推進委員会 ③訪問看護推進委員会 　④看護制度委員会 ⑤認定看護管理者教育運営委員会 ⑥まちの保健室事業推進委員会 　⑦災害看護委員会 ⑧研究倫理委員会)</p> <p>ウ 日本看護協会との連携 ① 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 ② 日本看護協会通常総会出席 (代議員6名、予備代議員6名) 　令和2年6月11日(木) マリンメッセ福岡 ③ 全国職能別交流集会 令和2年6月12日(金) マリンメッセ福岡 ④ 日本看護協会理事会 6回/年 ⑤ 中央法人会委員会 6回/年 ⑥ 地区別法人会員会及び職能委員長会 令和2年10月26、27日 宮崎県開催 ⑦ 都道府県看護協会各担当者会議出席</p> <p>エ 選挙管理委員会</p> <p>オ 推薦委員会 ① 改正役員等及び推薦候補者の推薦 ② 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の推薦</p> <p>カ 運営体制の整備 ① 業務分掌の検討 ② 諸規定の整備</p> <p>キ 会員登録事務 ① 新規・継続会員の受付、ナースシップの運用・管理 ② 新会員情報管理体制 (ナースシップ) 担当者会議</p>
(3) 協会活動に関する 広報活動推進	<p>ア 機関誌発行 ① さが看護協会だより ② 広報誌出版委員会 ③ ホームページ活用</p>
(4) 地域社会への広報 活動	<p>ア 實施内容は、「7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業」参照</p>
(5) 行政機関・関連団 体との連携	<p>ア 行政・関連機関・他団体委員会への参画 イ 看護連盟、四師会 (医師会、薬剤師会、歯科医師会) との情報交換 ウ 関係団体の後援・推薦・協賛等への協力</p>
(6) 会員の福利厚生	<p>ア 会員表彰 イ 各種表彰候補者推薦等 ウ 会員特典の運用や広報 エ 会員の慶事等 結婚式祝電 災害見舞 オ レジャー施設入場支援 　① 保養施設の優待、佐賀マッサージ協会優待</p>

報告事項3**令和2年度 予 算 書****令和2年度 収支予算の概要**

本会の予算は、20年会計基準に基づき、大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

「公益目的事業会計」は、5つの事業に区分され、その内訳は定款で定める9つの事業と、それらに共通する「公益目的事業共通」の事業である。また、「収益事業等会計」は施設の貸与事業、会員福利厚生事業等である。

令和2年度予算は、平成31年度に引き続き重点事業の強化や継続事業の充実などに資金を活用するものとなっている。

また、令和2年度「収支予算書」は、公益社団法人の要件として求められている次の財務三基準を十分に充たす構成となっている。

- (1) 収支相償、これは、公益目的事業に係る収支が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。

公益目的事業の経常収益285,295,000円が公益目的事業の経常費用286,154,000円を超えていない。

- (2) 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。

全事業の経常費用314,821,000円に対する、公益目標事業の経常費用286,154,000円の比率が90.9%と、50%を超えていている。

- (3) 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が公益目標事業の1年間実施するのに必要な額を超えないこと。

令和2年度の遊休財産見込額は175,488,000円で、公益目的事業の経常費用286,154,000円を超えていない。

収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	10,500	0	10,500
受取入会費	10,500	0	10,500
受取会員費	45,600	45,600	0
正会員受取会員費	45,600	45,600	0
事業収益	206,494	250,656	△ 44,162
研修会事業収益	14,925	13,050	1,875
介護保険収益	96,149	114,593	△ 18,444
療養費収益	75,524	95,328	△ 19,804
利用料収益	7,372	9,860	△ 2,488
居宅介護サービス計画費収益	11,714	10,180	1,534
療養通所介護費収益	0	6,665	△ 6,665
施設使用料収益	750	920	△ 170
電気使用料収益	24	24	0
販売手数料収益	36	36	0
事業受託収益	33,764	32,524	1,240
佐賀県受託事業収益	32,636	31,389	1,247
民間受託事業収益	1,128	1,135	△ 7
受取補助金等	9,508	9,742	△ 234
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取日本看護協会助成金	7,992	8,000	△ 8
受取補助金等振替額	1,516	1,742	△ 226
受取寄付金	11,396	11,734	△ 338
受取寄付金	400	400	0
受取寄付金振替額	10,996	11,334	△ 338
雑収益	824	1,510	△ 686
受取利息	53	55	△ 2
雑収益	771	1,455	△ 684
引当金戻入額	0	0	0
賞与引当金戻入	0	0	0
他会計からの繰入金	0	0	0
他会計からの繰入金	0	0	0
経常収益計	318,086	351,766	△ 33,680
(2) 経常費用			
事業費	287,701	329,328	△ 41,627
役員報酬	2,147	2,282	△ 135
給員報酬	139,014	150,050	△ 11,036
雇員報酬	19,045	38,365	△ 19,320
講師報酬	12,385	10,118	2,267
臨時雇用賃料	5,424	7,372	△ 1,948
退職給付	306	0	306
中退金	4,409	4,242	167
会員員福	399	399	0
会員福利厚生	26,280	31,436	△ 5,156
旅費	427	446	△ 19
通信費	4,877	5,298	△ 421
車両運搬費	3,904	4,294	△ 390
減価償却費	1,484	1,388	96
医療費	17,330	18,227	△ 897
衛生消耗品	120	240	△ 120
消耗品	700	1,600	△ 900
修繕消耗品	250	490	△ 240
刷製本	5,900	6,871	△ 971
燃料水料	520	570	△ 50
光熱費	3,742	4,190	△ 448
賃貸料	1,923	2,677	△ 754
会員謝金	4,247	4,269	△ 22
会員料金	4,717	4,904	△ 187
食事料	2,424	2,699	△ 275
会員謝金	1,905	1,984	△ 79
諸謝金	2,188	1,688	500

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
租税 払 負 担 公 課 金	3,851	3,233	618
支委 托 利 息 料 費	244	634	△ 390
支 托 手 数 入 費	8,806	9,970	△ 1,164
支 托 手 数 入 費	450	500	△ 50
雜賞 与 引 当 金 繰 入 費	776	766	10
管 役 員 料 師 報 手 報 費	140	190	△ 50
給 講 中 退 職 會 旅 通 減 消 消 修 印 燃 光 賃 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	7,367	7,936	△ 569
役 金 繰 入 費	27,120	27,116	4
給 員 料 師 報 手 報 費	8,545	8,728	△ 183
講 師 報 手 報 費	5,263	5,572	△ 309
中 退 職 會 旅 通 減 消 消 修 印 燃 光 賃 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	0	0	0
退 職 金 繰 入 費	176	176	0
職 金 繰 入 費	0	0	0
員 福 利 議 交 通 搬 却 品	1,616	1,425	191
費 信 価 値 償 器 備 品	66	66	0
耗 什 耗	2,892	2,892	0
耗 什 耗	235	235	0
修 什 耗	2,693	2,699	△ 6
耗 什 耗	0	0	0
耗 什 耗	225	225	0
修 什 耗	100	100	0
印 刷	740	740	0
燃 熱	10	0	10
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	571	539	32
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	521	521	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	42	42	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	492	492	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	425	315	110
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	1,841	1,681	160
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	0	0	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	225	225	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	20	20	0
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	422	423	△ 1
光 賃 保 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	0	0	0
経常費用計	314,821	356,444	△ 41,623
評価損益等調整前当期経常増減額	3,265	△ 4,678	7,943
損益評価等計			0
当期経常増減額	3,265	△ 4,678	7,943
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,265	△ 4,678	7,943
一般正味財産期首残高	377,365	325,418	51,947
一般正味財産期末残高	380,630	320,740	59,890
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0
受取寄付金	19,000	16,000	3,000
募資金収益	19,000	16,000	3,000
一般正味財産への振替額	△ 12,512	△ 13,076	564
一般正味財産への振替額	△ 12,512	△ 13,076	564
当期指定正味財産増減額	6,488	2,924	3,564
指定正味財産期首残高	309,454	318,772	△ 9,318
指定正味財産期末残高	315,942	321,696	△ 5,754
III 正味財産期末残高	696,572	642,436	54,136

収支予算

令和2年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護I事業	介護支援I事業	療養通所I事業	複合型事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	5,250,000	0	0	0	0
受取入会金	5,250,000	0	0	0	0
受取会費	22,800,000	0	0	0	0
正会員受取会費	22,800,000	0	0	0	0
事業収益	14,925,000	110,821,000	11,714,000	0	68,224,000
研修会事業収益	14,925,000	0	0	0	0
介護保険収益	0	32,157,000	0	0	63,992,000
療養費収益	0	75,524,000	0	0	0
利用料収益	0	3,140,000	0	0	4,232,000
居宅介護サービス計画費収益	0	0	11,714,000	0	0
療養通所介護費収益	0	0	0	0	0
児童発達支援収益	0	0	0	0	0
施設使用料収益	0	0	0	0	0
電気使用料収益	0	0	0	0	0
販売手数料収益	0	0	0	0	0
事業受託収益	23,550,000	9,650,000	0	0	0
佐賀県受託事業収益	22,986,000	9,650,000	0	0	0
民間受託事業収益	564,000	0	0	0	0
受取補助金等	7,992,000	1,465,000	0	0	51,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0
受取日本看護協会助成金	7,992,000	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	1,465,000	0	0	51,000
受取寄付金	8,278,000	0	0	0	22,000
受取寄付金	200,000	0	0	0	0
受取寄付金振替額	8,078,000	0	0	0	22,000
雑収益	50,000	501,000	0	0	2,000
受取利息	50,000	1,000	0	0	1,000
雑収益	0	500,000	0	0	1,000
引当金戻入額	0	0	0	0	0
賞与引当金戻入	0	0	0	0	0
他会計への繰入金	0	0	0	0	0
他会計への繰入金	0	0	0	0	0
経常収益計	82,845,000	122,437,000	11,714,000	0	68,299,000
(2) 経常費用					
事業費	88,510,000	121,284,000	11,871,000	189,000	64,300,000
役員報酬	2,147,000	0	0	0	0
給料手当	22,841,000	65,427,000	8,763,000	0	41,865,000
雇員報酬	2,278,000	12,015,000	0	0	4,752,000
講師報酬	12,055,000	330,000	0	0	0
臨時雇用賃金	5,424,000	0	0	0	0
退職給付費用	306,000	0	0	0	0

書 内 訳 表

令和3年3月31日まで

(単位：千円)

小計	収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去 一般事業	合 計
	収 1	他 1	小 計			
5,250,000	0	0	0	5,250,000	0	10,500,000
5,250,000	0	0	0	5,250,000	0	10,500,000
22,800,000	0	1,000,000	1,000,000	21,800,000	0	45,600,000
22,800,000	0	1,000,000	1,000,000	21,800,000	0	45,600,000
205,684,000	810,000	0	810,000	0	0	206,494,000
14,925,000	0	0	0	0	0	14,925,000
96,149,000	0	0	0	0	0	96,149,000
75,524,000	0	0	0	0	0	75,524,000
7,372,000	0	0	0	0	0	7,372,000
11,714,000	0	0	0	0	0	11,714,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	750,000	0	750,000	0	0	750,000
0	24,000	0	24,000	0	0	24,000
0	36,000	0	36,000	0	0	36,000
33,200,000	0	0	0	0	0	33,764,000
32,636,000	0	0	0	0	0	32,636,000
564,000	0	0	0	564,000	0	1,128,000
9,508,000	0	0	0	0	0	9,508,000
0	0	0	0	0	0	0
7,992,000	0	0	0	0	0	7,992,000
1,516,000	0	0	0	0	0	1,516,000
8,300,000	284,000	0	284,000	2,812,000	0	11,396,000
200,000	0	0	0	200,000	0	400,000
8,100,000	284,000	0	284,000	2,612,000	0	10,996,000
553,000	70,000	0	70,000	201,000	0	824,000
52,000	0	0	0	1,000	0	53,000
501,000	70,000	0	70,000	200,000	0	771,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0		0	0
0	0	0	0		0	0
285,295,000	1,164,000	1,000,000	2,164,000	30,627,000	0	318,086,000
0						
286,154,000	629,000	918,000	1,547,000	0	0	287,701,000
2,147,000	0	0	0	0	0	2,147,000
138,896,000	63,000	55,000	118,000	0	0	139,014,000
19,045,000	0	0	0	0	0	19,045,000
12,385,000	0	0	0	0	0	12,385,000
5,424,000	0	0	0	0	0	5,424,000
306,000	0	0	0	0	0	306,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
中退金繰入額	588,000	2,184,000	324,000	0	1,308,000
会員福利厚生費	0	0	0	0	0
職員福利厚生費	5,058,000	12,563,000	1,477,000	0	7,164,000
会議費	344,000	68,000	10,000	0	5,000
旅費交通費	4,217,000	620,000	10,000	0	30,000
通信費	1,452,000	2,083,000	178,000	0	91,000
車両費	0	1,043,000	0	0	441,000
減価償却費	9,072,000	7,357,000	77,000	189,000	343,000
医療消耗器材費	0	100,000	0	0	20,000
衛生材料費	0	500,000	0	0	200,000
消耗什器備品費	0	200,000	0	0	50,000
消耗品費	3,465,000	1,880,000	40,000	0	495,000
修繕費	100,000	300,000	0	0	100,000
印刷刷製本費	3,512,000	170,000	10,000	0	50,000
燃料料費	50,000	1,353,000	20,000	0	480,000
光熱水料費	1,755,000	1,574,000	46,000	0	810,000
賃借料費	3,013,000	1,333,000	22,000	0	339,000
給食材料費	0	0	0	0	2,424,000
保険料費	123,000	1,376,000	42,000	0	358,000
諸謝金	1,048,000	1,140,000			
租税公課	2,391,000	1,276,000	3,000	0	127,000
支払負担金	0	97,000	115,000	0	32,000
委託費	5,370,000	2,201,000	226,000	0	595,000
支払利息	0	450,000	0	0	0
支払手数料	468,000	270,000	5,000	0	30,000
雜費	10,000	100,000	10,000	0	20,000
賞与引当金繰入	1,423,000	3,274,000	493,000	0	2,171,000
管理理費	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0
講師報酬	0	0	0	0	0
中退金繰入額	0	0	0	0	0
中退職給付費用	0	0	0	0	0
職員福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
通信費	0	0	0	0	0
減価償却品費	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0
印刷刷製本費	0	0	0	0	0
燃料料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0
賃借料費	0	0	0	0	0
保険料費	0	0	0	0	0

(単位：千円)

小計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	収1	他1	小計	法人会計	一般事業	
4,404,000	3,000	2,000	5,000	0	0	4,409,000
0	0	399,000	399,000	0	0	399,000
26,262,000	10,000	8,000	18,000	0	0	26,280,000
427,000	0	0	0	0	0	427,000
4,877,000	0	0	0	0	0	4,877,000
3,804,000	10,000	90,000	100,000	0	0	3,904,000
1,484,000	0	0	0	0	0	1,484,000
17,038,000	292,000	0	292,000	0	0	17,330,000
120,000	0	0	0	0	0	120,000
700,000	0	0	0	0	0	700,000
250,000	0	0	0	0	0	250,000
5,880,000	10,000	10,000	20,000	0	0	5,900,000
500,000	10,000	10,000	20,000	0	0	520,000
3,742,000	0	0	0	0	0	3,742,000
1,903,000	10,000	10,000	20,000	0	0	1,923,000
4,185,000	62,000	0	62,000	0	0	4,247,000
4,707,000	5,000	5,000	10,000	0	0	4,717,000
2,424,000	0	0	0	0	0	2,424,000
1,899,000	6,000	0	6,000	0	0	1,905,000
2,188,000				0		2,188,000
3,797,000	54,000	0	54,000	0	0	3,851,000
244,000	0	0	0	0	0	244,000
8,392,000	89,000	325,000	414,000	0	0	8,806,000
450,000	0	0	0	0	0	450,000
773,000	2,000	1,000	3,000	0	0	776,000
140,000	0	0	0	0	0	140,000
7,361,000	3,000	3,000	6,000	0	0	7,367,000
0	0	0	0	27,120,000	0	27,120,000
0	0	0	0	8,545,000	0	8,545,000
0	0	0	0	5,263,000	0	5,263,000
0	0	0	0		0	0
0	0	0	0	176,000	0	176,000
0	0	0	0		0	0
0	0	0	0	1,616,000	0	1,616,000
0	0	0	0	66,000	0	66,000
0	0	0	0	2,892,000	0	2,892,000
0	0	0	0	235,000	0	235,000
0	0	0	0	2,693,000	0	2,693,000
0	0	0	0	225,000	0	225,000
0	0	0	0	100,000	0	100,000
0	0	0	0	740,000	0	740,000
0	0	0	0	10,000	0	10,000
0	0	0	0	571,000	0	571,000
0	0	0	0	521,000	0	521,000
0	0	0	0	42,000	0	42,000

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護 I 事業	介護支援 I 事業	療養通所 I 事業	複合型事業
租 税 公 課	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
支 払 利 息	0	0	0	0	0
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雜 費	0	0	0	0	0
賞 与 引 当 金 繰 入	0	0	0	0	0
他 会 計 へ の 繰 出 金	0	0	0	0	0
他 会 計 へ の 繰 出 金	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	88,510,000	121,284,000	11,871,000	189,000	64,300,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,665,000	1,153,000	△157,000	△189,000	3,999,000
損 益 評 價 等 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△5,665,000	1,153,000	△157,000	△189,000	3,999,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経 常 外 収 益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	73,570	100,813	9,867	157	53,447
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△5,591,430	1,253,813	△147,133	△188,843	4,052,447
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	150,270,683	120,699,414	992,442	4,824,986	12,642,763
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	144,679,253	121,953,227	845,309	4,636,143	16,695,210
II 指定正味財産増減の部					
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 県 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 寄 付 金	19,000,000	0	0	0	0
募 金 収 益	19,000,000	0	0	0	0
施 設 維 持 管 理 資 金 抱 出 金	19,000,000	0	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△8,078,000	△1,465,000	0	0	△73,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△8,078,000	△1,465,000	0	0	△73,000
地 方 公 共 团 体 補 助 金	0	△1,465,000	0	0	△51,000
寄 付 金	△8,078,000	0	0	0	△22,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	10,922,000	△1,465,000	0	0	△73,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	247,837,631	16,531,116	0	9,912	531,988
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	258,759,631	15,066,116	0	9,912	458,988
III 正味財産期末残高	403,438,884	137,019,343	845,309	4,646,055	17,154,198

(単位：千円)

小計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	収1	他1	小計	法人会計	一般事業	
0	0	0	0	492,000	0	492,000
0	0	0	0	425,000	0	425,000
0	0	0	0	1,841,000	0	1,841,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	225,000	0	225,000
0	0	0	0	20,000	0	20,000
0	0	0	0	422,000	0	422,000
0	0	0	0		0	0
0	0	0	0		0	0
286,154,000	629,000	918,000	1,547,000	27,120,000	0	314,821,000
△859,000	535,000	82,000	617,000	3,507,000	0	3,265,000
0	0	0	0	0	0	0
△859,000	535,000	82,000	617,000	3,507,000	0	3,265,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
237,854	△237,854	0	△237,854	0	0	0
△621,146	297,146	82,000	379,146	3,507,000	0	3,265,000
289,430,288	8,129,756	535,565	8,665,321	79,269,224	0	377,364,833
288,809,142	8,426,902	617,565	9,044,467	82,776,224	0	380,629,833
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
19,000,000	0	0	0	0	0	19,000,000
△9,616,000	△284,000	0	△284,000	△2,612,000	0	△12,512,000
△9,616,000	△284,000	0	△284,000	△2,612,000	0	△12,512,000
△1,516,000	0	0	0	0	0	△1,516,000
△8,100,000	△284,000	0	△284,000	△2,612,000	0	△10,996,000
9,384,000	△284,000	0	△284,000	△2,612,000	0	6,488,000
264,910,647	4,370,355	0	4,370,355	40,173,641	0	309,454,643
274,294,647	4,086,355	0	4,086,355	37,561,641	0	315,942,643
563,103,789	12,513,257	617,565	13,130,822	120,337,865	0	696,572,476

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の見込みはありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に設備投資の見込みはありません。

目指せ！会員数 5,700名!!



こんにちは。私たちは会員委員会です。

佐賀県の看護協会会員数は、平成31年3月31日時点で5,648名でした。入会率は35%、全国で比較しても一番低い入会率です。令和元年12月時点では、5,590名と減少傾向となっています。

そこで、私たち会員委員会は、会員獲得に向けて県内の高校や看護専門学校等で、DVDなどを使用して看護協会の紹介を行っています。

会員数最下位を抜け出すために、入会された当該年度(2019年以降の入会者)に限り研修の無料化・ポイント制度の導入・温泉施設のご優待等々、会員特典をアピールすると共に、若い世代からベテラン世代まで、皆様一人一人にご協力いただき令和2年度は5,700名を目標に会員数を増やしていきたいと思います。

さらに、今後魅力ある福利厚生を増やしていくように働きかけていきたいと考えています。

まだ、入会されていない方が勤務されているようであれば、是非ご紹介ください。よろしくお願ひいたします。

※会員特典の詳細については、佐賀県看護協会ホームページをご確認ください。

期間限定

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

期間中【2020.8/1±→8/31日】に限り ※休園日は除く。

入園+アトラクション利用のパスポートチケット



※イベント内容については中止・変更もございます。ご利用時はハーモニーランドホームページにて事前にご確認ください。

無料ご招待

【会員とそのご家族様 対象】

(通常1名3,000円)が無料！

※一部アトラクションは別料金となります。

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「佐賀県看護協会会員証または、電子会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。
必ず、「利用申請書」「会員証」の2つと一緒に提示してください。

※企画内容・利用申請書の記載方法に関しては、協会窓口へお問合せください。

(tel.0952-68-3299)

ハーモニーランドの休園日・営業時間。
夜間営業日はホームページ等でご確認ください。

※入園は閉園の1時間前まで



最新の
イベント情報も
チェック！

ハーモニーランド営業課(営業時間内)
tel.0977-73-1155

大分県速見郡日出町
大字藤原5933
(国道10号線沿い)

©'76, '91, '96, '01, '09, '12, '20 SANRIO

←切り取り

佐賀県看護協会 会員専用 ハーモニーランド利用申請書 (会員代表者を含む7名様まで)

【対象期間】2020年8月1日(土)~8月31日(月)

※休園日は除く。P326



会員番号

氏名

利用申請者
(4歳以上の方)
※4歳未満の方は
無料となりますので
記入不要です。

氏名

氏名

氏名

ご利用日

月

日

ご利用者合計数(4歳以上)

名様

※お名前の記入欄が不足する場合は
「利用申請書」をコピーしてご利用ください。

協会からのお知らせ

2020年度 佐賀県看護研究学会の日程と場所が決まりました。

日程：2021年3月6日（土）

場所：佐賀市文化会館

学会申込締め切り：令和2年11月11日（水）12:00必着

詳細については、佐賀県看護協会教育計画をご確認ください。



◎ F A N C L クレンジングオイルを寄贈いただきました

株式会社ファンケル様から「新型コロナウイルス感染症拡大で、最前線で私たちの命を守るために、日夜ご活躍をいただいている看護職の皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。」という内容のお手紙と、マイルドクレンジングオイル(120mL)をご寄贈いただきました。

ご希望の方は、1人1本配布しますので、6月30日（木）までに佐賀県看護協会まで電話もしくはメールにてご連絡をお願いします。

なお、看護協会に受け取りに来れる方限定で、先着400名に達した時点で終了となります。



理事会等報告

常任理事会 令和2年1月27日(月)

- 理事会打合せ(2月1日(土)開催)について
- 2019年度佐賀県看護研究学会について
- 2020年度教育計画について
- 入会金取扱いに関する規定の一部改正について
- 収支予算の補正について
- 職能委員会委員交代について
- 事業報告(10月～12月)について
- 会員増への対策について
- その他

理事会 令和2年2月1日(土)

協議事項の審議

- 2019年度佐賀県看護研究学会について
- 2020年度教育計画について
- 入会金取扱いに関する規定の一部改正について
- 収支予算の補正について
- 職能委員会委員交代について

報告事項

- 事業報告(10月～12月)について
- 会員増への対策について
- 全国学会等報告
 - 第21回看護職賠償責任保険制度研修会
- 特別委員会報告
 - 災害看護委員会
 - 認定看護管理者教育運営委員会
- その他
 - 2021年度日本看護協会通常総会日程
 - 2021年3月の佐賀県看護研究学会テーマについて
 - 認定看護管理者教育課程セカンドレベルの他施設実習単価について

常任理事会 令和2年3月6日(金)

- 理事会打合せ(3月14日(土)開催)について
- 令和2年度佐賀県看護協会通常総会について
- 令和2年度事業計画(案)について
- 令和2年度収支予算書等(案)について
- 2019年度収支予算の補正(案)について
- その他

理事会 令和2年3月14日(土)

協議事項の審議

- 令和2年度佐賀県看護協会通常総会について
- 令和2年度事業計画(案)について
- 令和2年度収支予算書等(案)について
- 2019年度収支予算の補正(案)について

報告事項

- 日本看護協会理事会
- 2020年度「看護の日・看護週間」事業について
- 全国会議等報告
 - 訪問看護連絡協議会全国会議
- 特別委員会報告
 - 訪問看護推進委員会
 - 看護夢ナビ事業推進委員会
 - まちの保健室推進委員会
 - 災害看護委員会
 - 医療安全推進委員会
- その他
 - 看護ふれあいフェスタ2020について
 - 2020年度行事日程予定表について

常任理事会 令和2年4月13日(月)

- 理事会打合せ(4月18日(土)開催)について
- 令和2年度役員改選(案)及び推進委員(案)について
- 令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
- 令和2年度 職能委員会委員、常任委員会委員、特別委員会委員の選任及び交代について
- 令和2年度看護事業功労者県知事感謝状受賞者について
- 看護センター施設維持管理資金拠出金納入状況について
- 入会金の納入状況について
- 令和2年度佐賀県看護協会通常総会について
- その他

理事会 令和2年4月18日(土)

協議事項の審議

- 令和2年度役員改選(案)及び推進委員(案)について
- 令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
- 令和2年度 職能委員会委員、常任委員会委員、特別委員会委員の選任及び交代について
- 令和2年度看護事業功労者県知事感謝状受賞者について

報告事項

- 看護センター施設維持管理資金拠出金納入状況について
- 入会金の納入状況について
- 令和2年度佐賀県看護協会通常総会について
- 特別委員会報告
 - 看護制度委員会
 - 訪問看護推進委員会
 - 認定看護管理者教育運営委員会
- その他
 - 佐賀県看護協会監査
 - 会員数について
 - 令和2年度日本看護協会通常総会について
 - その他

編集後記



昨年末より新型コロナウイルス感染拡大に伴い、佐賀県でも4月16日に「緊急事態宣言」が発令されました。このことから緊張した生活を送られていることが多いと思います。また、現場で感染対応をされている医療従事者の方々には敬意を表します。一人、一人が健康管理を行いこの危機を乗り越えていきましょう。

広報出版委員会 一村八寿子 副島京子 力武尚美 草場康弘 橋本幸子 丸本義孝

URL:<http://www.saga-nurse.org>